

駿河台大学父母会会報



2026.2.6
No.75

樹提苦

SURUGADAI UNIVERSITY
PARENTS' ASSOCIATION
BODAIJU

特集 — 全日本大学女子駅伝出場 —

父母会総会報告 など





駿河台大学父母会会報

菩提樹

SURUGADAI UNIVERSITY
PARENTS' ASSOCIATION
BODAIJU

CONTENTS

- 04 全日本大学女子駅伝 結果
富士山女子駅伝 結果

父母会総会

06 第39回(2025年度)父母会総会

理事長挨拶／学長挨拶
前会長挨拶／新会長挨拶
2024年度父母会収支決算報告
2025年度父母会事業計画
2025年度父母会収支予算
2025年度父母会役員の選出について
懇親パーティー

就職セミナー・
就学説明会

12 就職セミナー

16 就学説明会

互助会

18 互助会理事会報告

19 TOPIC ウォーターサーバーを設置しています

父母会
支部会

20 父母会支部会

大学は今

21 大学は今

学生親睦企画実施報告
学生支援課公式アプリ
「キャンパスライフナビ」
ボランティア活動報告
第39回駿輝祭REPORT
2025年度駿河台大学給付奨学金
(修学支援奨学生)
2025年度駿河台大学父母会奨励金
メディアセンターより
スポーツ公認団体の活動
グローバル教育センターの近況
キャリアセンターより
地域連携活動報告

お知らせ

- 37 健康相談室より
38 2026年度当初の行事について
同窓会より
39 2026年度学年暦

卒業関係日程のお知らせ

本年度も残すところ僅かになりました。4年次生のご父母の皆様には、卒業についてご関心が高いことと思います。卒業に関する日程は次のとおりとなっております。

日 程	行 事
2月13日(金) 10:00	4年次生成績発表
	卒業要件充足者の発表
	再試験受験対象者の発表、再試験受験申込受付(～16日(月) 15:00)
2月13日(金) 13:00	4年次生の通年・秋学期終了科目成績疑義申し立て受付(～14日(土) 14:50)
2月13日(金)～19日(木)	卒業延期願提出期間
2月16日(月) 15:00	再試験受験申込受付締切
2月19日(木) 13:00	4年次生の通年・秋学期終了科目成績疑義伝達
2月19日(木) 17:00	卒業延期願提出受付〆切
2月25日(水) 13:00	再試験実施内容、再試験時間割発表
2月27日(金)・28日(土)	再試験
3月2日(月)	卒業延期願許可通知発送
3月9日(月) 10:00	再試験受験者成績発表
	卒業予定者発表(再試験受験者を含む)
	4年次生証明書発行停止
3月10日(火)～17日(火)	
3月18日(水) 14:00	学位記授与式(卒業式)
3月18日(水) 17:30	コメンズメントパーティー(卒業パーティー)

*追試験について

追試験は、定期試験をやむを得ない事情で欠席した者に対して行われる試験です。定期試験を欠席した者が、試験欠席届を提出することによって、その理由が正当と認められた場合、追試験の受験が許可されることがあります。試験欠席届には、欠席理由を証明する書類(病欠の場合は、それを証明する診断書)を添付する必要があります。また、外国語科目、実習・演習科目等の平常点で成績評価を行う科目は追試験を実施しません。詳細は履修ガイドをご参照ください。

*卒業延期制度とは？

卒業の要件を満たす学生で、資格取得等学業の継続または就職活動により、引き続き在学することを希望する場合に、1年または半年、引き続き在学することを認める制度です。本制度を利用して卒業延期を希望する場合は事前に教務課まで申し出が必要となります。申請資格は、次のとおりとなります。

- ・駿河台大学学則に規定する卒業の要件を充足見込みであること。
- ・引き続き在学することにより、在学期間が、学則に規定する在学年限を超えないこと。
- ・学費等納付金を滞納していないこと。

*卒業要件充足者の発表とは？

4年次生で卒業に必要な単位数を満たしかつ、当該年度の学費納入済みの学生を発表します。併せて再試験対象者を掲示にて発表します。

*再試験とは？

再試験は、該当年度の履修登録科目で成績評価が不合格(F表示)となった科目について、再試験受験により、12単位以内を修得することで卒業資格を取得することができる者に限り行われる試験です。なお、実習・演習科目等の一部の科目で再試験を実施しないものがあります。詳細は、履修ガイドをご参照ください。

*卒業予定者発表とは？

再試験の結果を含めた、最終的な卒業予定者を発表します。この日に卒業予定者として発表された学生は、卒業式までの間に退学等の特別な事情のない限り、卒業することができます。卒業関係の発表は、すべて学生本人が確認することになっております。個人情報にもなりますので、恐れ入りますが、お電話等によるお問い合わせは、ご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

(教務課)

※諸事情により、卒業式の実施内容等に変更が生じた場合は、改めて、ポタロウ及びホームページを通じてお知らせいたします。

卒業式・コメンズメントパーティー

卒業式 3月18日(水) 当日の予定

時 間	内 容	会 場・場 所
13:30～	卒業生集合	体育館 ※会場には13:15よりご入場できます。
14:00～	学位記授与式(卒業式)	
15:10～	学位記授与	
17:00～	コメンズメントパーティー受付	各学部の指定教室
17:30～ 19:00	コメンズメントパーティー	法
		経済経営
		メディア
		スポーツ科
		心理



卒業式



コメンズメントパーティー

卒業式

ご父母の方々もご参加いただけます。大学からスクールバスを増発しておりますので、そちらをご利用ください。

※ご父母用の駐車場はございますが、駐車台数に限りがあるため、できるだけ公共交通機関及びスクールバスをご利用の上、お越しください。

コメンズメントパーティー

4年間過ごした駿河台大学での日々を振り返り、少しでも多くの先生方、友人達に感謝の気持ちを伝える場所が必要かと考え卒業式終了後に開催します。例年同様、謝恩会と祝賀会を合同で、より多くの卒業生が参加できるよう参加費無料(父母会負担)にて開催いたします。卒業生の方はもちろん、卒業生のご父母の方々も無料でご参加いただけます。事前申込不要ですので、直接会場にお越しください。

※会場の都合上、在学生(1～3年次生)の参加はご遠慮いただいておりますのでご了承ください。
※会場が満室になり次第、入場を制限することもありますので、できるだけ早目にご来場願います。
※当日お車での来場はお控え願います。

父母会からのお知らせ

新社会人になる卒業生に、毎年父母会より卒業記念品としてオリジナル袱紗とボールペンをセットで贈呈しています。



全日本大学女子駅伝 結果

10月26日(日)に宮城県仙台市で開催された、第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会に出場しました本学駅伝部女子チームは、初出場ながら16位と健闘いたしました。

あいにくの雨模様の中、6人で襷をつなぎきり、初出場という駿河台大学駅伝部の歴史に新たな1ページを刻みました。

沿道では、襷柄の応援タオルを持参し声援を送ってくださる方の姿も見受けられました。

引き続きご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

区間	区間順位	選手名	所属	出身高校
1	9位	山口ありす	法学部2年	日本大学東北
2	20位	橋詰史歩	スポーツ科学部2年	長野東
3	21位	渡邊美悠	スポーツ科学部4年	伊賀白鳳
4	19位	前田百花	心理学部1年	埼玉栄
5	10位	丸毛萌愛	経済経営学部3年	神港学園
6	18位	塩野愛梨花	スポーツ科学部4年	日本体育大学柏
総合	16位	駿河台大学		

3区・渡邊主将



©Getsuriku

4区・前田選手



©Getsuriku

5区・丸毛選手



©Getsuriku

6区・塩野選手



©Getsuriku



©Getsuriku

富士山女子駅伝 結果

12月30日(火)に静岡県で開催された2025富士山女子駅伝に初出場しました本学駅伝部女子チームは、24位という結果になりました。

怪我人やコンディション不良者もいる中、思うような結果が残せず悔しさの残る初出場となりました。

沿道では、襷の応援タオルを持参し声援を送ってくださる方の姿も見受けられました。

引き続きご声援のほどよろしくお願い申し上げます。

区間	区間順位	選手名	所属	出身高校
1	15位	橋詰史歩	スポーツ科学部2年	長野東
2	22位	塩野愛梨花	スポーツ科学部4年	日本体育大学柏
3	24位	染川舞衣	スポーツ科学部3年	西脇工業
4	20位	渡邊美悠	スポーツ科学部4年	伊賀白鳳
5	24位	山口ありす	法学部2年	日本大学東北
6	16位	丸毛萌愛	経済経営学部3年	神港学園
7	24位	山本結子	スポーツ科学部3年	宮崎日大
総合	24位	駿河台大学		



7区・山本選手



©Getsuriku



6区・丸毛選手



4区・渡邊主将

©Getsuriku

第39回(2025年度)父母会総会

6月7日(土) 本学キャンパスにおきまして、第39回(2025年度)父母会総会が開催されました。

当日は、総会のほか、キャンパス見学会、こころとからだと学習に関する健康相談会、就職セミナー、就学説明会、懇親パーティーの各種行事が実施され、多くのご父母の皆様にご参加いただきました。

以下に当日の概況をご報告いたします。



山崎理事長



大森学長

[キャンパス見学会] (①10:00～、②11:00～)

総会に先立ち、ご父母を対象としたキャンパス見学会が開催されました。当日は、オープンキャンパス・スタッフの学生が、食堂やメディアセンターなど、日頃学生が過ごしている施設をご案内しました。



[こころとからだと学習の健康相談会]

こころとからだと学習に関する相談会を、事前予約制により実施しました。学内に配置しているカウンセラーのうち、1名は日頃より常駐していますので、平素もお気軽にご相談ください。ご希望の場合は、事前のご連絡をお願いいたします。

(お問い合わせ先：健康相談室 TEL：042-972-1783)

[総会] (第一部 15:00～、第二部 16:15～)

総会は、15:00から第二講義棟14階会議室において、72組の出席により開催されました。

第一部(大学からの近況報告)と第二部(議事)に分けて実施されましたので、その概況をご報告いたします。



理事長挨拶



理事長

山崎 志保

理事長の山崎でございます。本日は、ご多用の中を父母会総会に多数ご出席を賜り、誠にありがとうございます。

駿河台大学が今日の発展をみるに至りましたのは、ひとえに関係各位のご支援の賜物であります。特に、父母会におかれましては、日頃より、「教育の振興」「教育環境の整備」など、物心両面にわたり、多大なお力添えを賜り、感謝申し上げます。

また例年ご援助いただいております100円朝食につきまして、学生から多くの好評の声を聴いております。朝食は、学生たちの心身の健康維持に重要な役割を果たしており、物価高が続く昨今、経済的な負担軽減にもつながっております。学生たちが健康で充実した大学生活を送れますのも、偏に父母会のご支援の賜物と深く感じております。

さて、本学は大学創立者の山崎春之が、「情報化、国際化の時代を踏まえて、実社会に役立つ人材、国際社会で活躍できる人材を養成すること」を掲げ、この飯能の地に開設いたしました。

「学生一人ひとりに対する愛情がなければ、真の教育はできない」という信念の下、大森一宏学長とともに「教育力の駿大」を具現化するためのさまざまな教育・研究活動を実践し、さらなる教育の質の向上等を目指しております。

「教育の質保証」については、「学校法人駿河台大学中期計画（グランドデザイン2026）」を2021年に策定し、「教育力」「就業力」「学生支援力」など6つの大項目を掲げ取り組んでおります。本学のこうした取り組みは、私立大学に対する社会からのニーズに的確に対応したものであります。

また、「私立学校法」の改正による新たな寄附行為を制定し、この6月より新たな理事・評議員による運営体制の下、法人運営をして参ります。健全な大学運営のためにも、今後も文部科学省等、

国の政策を遵守し、教育環境と教育効果を高め、「グランドデザイン2026」を指針として、より教育の質を担保していく所存です。

本学での教育・研究・社会貢献を含む活動については、学長からご説明がありますので、私からは、経営的な面から大学の状況についてご説明させていただきます。

学校経営の観点では、適正かつ財政の健全化を図り、教育環境の充実、整備を図ることが重要と考えています。そのため、本学では、三つの柱として、「入学定員の充足」「就職率の向上」「中途退学者の減」を掲げ、大学改革を教職員が一体となって取り組んでいます。

「入学定員の充足」につきましては、昨年に引き続き入学定員を充足させることができました。これからも選ばれる大学となるべく、過去にもまして教職員一丸となり、精進して参ります。

「就職率の向上」につきましては、父母会からの就職対策援助を賜り、卒業者の就職希望者に占める就職率が98.6%と高い水準を維持できております。

「中途退学者の減」につきましても、年度目標を設定し、教職員研修でもその重要性について認識を深め、教育支援・経済的支援等の対応に努めた結果、退学者の減少につなげることができております。

また、財政の面では、採択制の国庫補助金や外部研究費を得るなど、収入確保に努めて参りました。

支出の面では、猛暑に対応するべく、体育館アリーナ・小体育館等の空調設備の新設工事を実施しました。今年度は、LEDライトへの変更、エレベーターの更新等、優先度の高いものから順次着手し、より教育環境の向上に努めていく予定です。

「財政基盤の健全化」の実現のため、教育環境の整備充実を図りながら、本年の収支についても改善を図ることができました。

これらの事業等につきましては、父母会の皆様方をはじめ、多くの方からご支援をいただいております。

私共、駿河台大学は、教育環境の整備充実、さらに教育の質の向上等に、これからも全力で取り組んで参る所存でございます。

引き続き父母会の皆様方におかれましては、学生の教育振興のために、一層のご理解・ご支援をどうかよろしくお願い申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。

学長挨拶



学長
大森 一宏

学長の大森でございます。父母会の皆様におかれましては、日頃より、本学の教育・学生支援・就職等活動に対しまして多大なご支援を賜り、篤くお礼申し上げます。皆様のご支援により、学生たちは勉学に、また課外活動にと充実した学生生活を送ることが可能となっております。

父母会からは昨年度も、卒業記念品の贈答、学園祭である駿輝祭開催への支援、サークルや運動部など課外活動団体への支援、学生朝食費補助、ゼミ活動での教材費補助への支援などをいただきました。この場をお借りして、心よりお礼申し上げます。

それでは、ここで本学の状況を簡単に述べさせていただきます。本学の2026年度までの中期計画（グランドデザイン2026）では、入学定員の確保と収容定員の充足、高い就職率の維持、中途退学の防止という三つの重点課題を掲げております。まず、2024年度には約6割の大学が定員割れを起こしているというきびしい状況の中であって、本学は昨年度も入学定員の確保と収容定員の充足を達成することができました。また、2025年3月の卒業者の就職希望者に占める就職率は98.6%となり、高い就職率を維持しています。さらに中退率は、3.3%となり、近年の改善傾向を維持することができました。つまり、重点課題の克服については、一定の成果をあげることができたと自己評価をしているわけですが、けっして、この結果に満足することなく、引き続き教育力の向上や学生支援力の強化に取り組み、地域の中核的人材の育成をはじめとする本学のミッションに努めているところです。

とりわけ重要な教育力の向上については、教室等における対面授業を基本としながらも、学習管理システムであるMoodleやスマートフォンなどのIT技術を積極的に活用して、一人ひとりの学びに応じた指導や学習支援を行っています。また、教育成果

については、通常の成績評価に加えて、大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向、いわゆるジェネリックスキルを測定するために、PROGテストを全学年で導入・実施し、その結果などに基づく学修成果を学生に明示するなど、教育成果の多面的測定と可視化に努めています。

その他、国際交流活動も活発に行われており、今年も、アメリカ、ドイツ、イギリス、オーストリア、フィリピン、中国、台湾、韓国などに学生を送り出します。一方で、ドイツのミュンヘン大学や中国の聊城大学から、留学生が本学に来て、日本の学生たちとも交流しながら、日本語や日本の社会や文化について学んでいます。なお、以上のような高校までとは質の異なる大学での学びを円滑に進めるために、本学の学習相談室では、さまざまな学習方法について、学生たちの相談に応じるサポート体制をしいています。

次に、本学が特に力を入れております就職支援については、本年度も教員と職員が一体となった組織的な支援体制の下で、すべての学生が納得のいく進路を切り拓いていけるようサポートしています。父母会の皆様には、本学のホームページの就職支援から、キャリア・就職進路サポート、キャリアセンターと入っていただきますと、「保護者向けの支援体制」のご案内がございますので、ぜひご覧ください。就職活動中の学生は、不安や孤独を感じ、自信を失いかける時もあるかもしれません。どうか身近な相談相手となります保護者・ご父母の皆様方の温かなサポートをお願い申し上げます。

さて、課外活動につきましても、朗報が届いております。本年5月に行われました第104回関東学生陸上競技対抗選手権大会（関東インカレ）において、本学陸上競技部および駅伝部は、男子2部で優勝し、この結果1部昇格となりました。

以上のように、教育やスポーツなど、父母会の皆様のご支援に支えられて、活発な活動を行い、成果をあげております。私も教職員一同は、今後とも学生一人ひとりと向き合いながら、教育の質の向上や学生支援の充実に取り組んでいく所存です。父母会の皆様におかれましては、今年度も引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後になりましたが、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて、ご挨拶と現況のご報告といたします。

前会長挨拶



2024年度会長
山本 るみ子 氏

ただいまご紹介いただきました、2024年度父母会会長を務めました山本でございます。本日はお忙しい中、父母会総会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。会長退任にあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

2024年度の具体的な事業内容につきましては、この後、幹事からの事業報告でご説明がありますが、父母会の趣旨に則し、学生への援助、大学への援助、大学と父母との連携及び相互理解の

促進、などに向けたさまざまな事業を実施することができました。

ご協力いただきました役員・会員の皆様には、心より感謝申し上げます。

さて、後任の会長をお引き受けくださいました山崎様、これから1年間どうかよろしくお願いいたします。

私も、引き続き微力ではございますが、父母会役員としてお手伝いさせていただきます。これからも、父母会は、学生の成長を援助し、大学の発展を支援するとともに、大学と父母との連携を深める活動を行っていただければと思います。会員の皆様も、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、父母会の皆様のご健勝と、駿河台大学の益々の発展を祈念いたしまして退任のご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

新会長挨拶



2025年度会長
山崎 里子 氏

ただいまご紹介にあずかりました山崎でございます。このたび、父母会会長を引き受けさせていただくこととなりましたが、皆様のご理解、ご協力なしには、会長を務めることはできません。何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、前会長の山本様におかれましては、大変お疲れ様でございました。改めて、皆様からの温かい拍手を山本様へお送りいただければと存じます。

さて、父母会の事業は、先ほど山本様からもお話がございましたが、学生たちのさまざまな活動に対する援助や父母相互の交流と大学との相互理解を深め、教育事業の振興に寄与することを目的としております。

2025年度の父母会運営におきましても、従来の事業を継承し、学生たちのさまざまな諸活動への支援を継続して行いながら、さらなる大学の発展に貢献して参りたいと考えております。

この大学に集うご父母が一丸となり、大学の教育活動を支援することで、学生たちにとっても、誇れる大学であってほしいと願ってやみません。

最後になりますが、冒頭申し上げましたとおり、ご父母の皆様のご理解とご協力を重ねてお願いいたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

2024年度父母会収支決算報告

2024年4月1日～2025年3月31日

(収入の部)			
(単位：円)			
勘定科目	予算額	決算額	差 異
前年度繰越金	57,304,856	57,304,856	0
会費	40,830,000	39,770,000	△ 1,060,000
預金利息	500	25,814	25,314
収入の部合計	98,135,356	97,100,670	△ 1,034,686
(周年記念事業等準備金積立)			
(単位：円)			
勘定科目	予算額	決算額	差 異
前年度繰越金	8,002,427	8,002,427	0
本年度組入金	1,000,000	1,000,000	0
預金利息	1,000	136	△ 864
本年度取崩額		0	0
準備金積立残額	9,003,427	9,002,563	△ 864

(支出の部)			
(単位：円)			
勘定科目	予算額	決算額	差 異
学生への援助	30,100,000	25,185,957	△ 4,914,043
大学への援助	7,000,000	7,000,000	0
父母会事務 運営等諸経費	7,230,000	7,510,080	280,080
準備金積立組入	1,000,000	1,000,000	0
予備費	52,805,356	0	△ 52,805,356
次年度繰越金	0	56,404,633	56,404,633
支出の部合計	98,135,356	97,100,670	△ 1,034,686

2025年度父母会事業計画

科目	予算額(円)	実施予定	事業	内容
大学祭	7,000,000	10月25日・26日	駿輝祭実施援助	本学の大学祭である駿輝祭の実施補助
課外活動援助費	6,800,000	7月～8月	課外活動援助金	課外活動団体に対する活動費補助
ボランティア活動援助費	500,000	4月～3月	ボランティア活動援助	ボランティア団体の活動費補助
学生生活支援費	900,000	4月・5月 9月・10月	朝食支援	¥100 朝食の提供 (¥300 相当の食事に¥200 補助) ※春秋の学期当初に実施
	200,000	4月	ウォーターサーバー設置援助	学内設置 (2 台) のウォーターサーバー年間利用料援助
留学生国際交流援助費	1,300,000	4月～2月	留学生交流会援助	留学生との交流会実施支援
		9月	留学生交流旅行実施援助	留学生対象の日本文化を知るための旅行実施補助
		12月	留学生冬季交流会援助	留学生と日本人学生、近隣の方々との交流会等実施支援
就職対策援助費	2,000,000	4月～12月	就職対策特別講座	プロ講師による就職支援のための連続・集中講座支援
		11月～12月	就職適性検査	就職適性検査受験料援助
		9月～10月	保護者対象説明会	保護者対象説明会案内状郵送料等支援
		2月～3月	就職ガイダンス	各種就職ガイダンス実施経費支援
卒業関係費	11,000,000	3月18日	卒業記念品贈呈	2025 卒業生へ記念品を贈呈 (約 1,000 名予定)
		3月18日	卒業パーティーの実施援助	卒業式当日に卒業パーティーを実施
父母会奨励金	1,000,000	12月	父母会奨励金の給付	課外活動で顕著な成果を収めた個人または団体に対する奨励金の給付 (10 万円× 10 件)
大学への援助	7,000,000	7月	大学への援助資金	大学のゼミ活動経費等に対する支援
各会運営費	3,000,000	6月7日	父母会役員会	2025 年度役員会を開催
			父母会総会	2025 年度総会・懇親会を開催
		9月	父母会地方支部会	地方支部会開催、就職相談も同時に実施
		10月25日	著名人講演会実施	駿輝祭において父母会・同窓会共催講演会を実施
印刷費・通信費他	3,130,000	2月	会報誌「菩提樹 75 号」作成・発送	父母会会報誌である菩提樹を 4,700 部作成予定
周年事業積立金組入	1,000,000	7月	次期周年事業積立金	次期周年記念事業に備えるための積立金支出

2025年度父母会収支予算

2025年4月1日～2026年3月31日

(収入の部)				
(単位：円)				
勘定科目	2025年度予算額	2024年度予算額	増 減	2024年度決算額
前年度繰越金	56,404,633	57,304,856	△ 900,223	57,304,856
会費	39,330,000	40,830,000	△ 1,500,000	39,770,000
預金利息	30,000	500	29,500	25,814
収入の部合計	95,764,633	98,135,356	△ 2,370,723	97,100,670
(周年記念事業等準備金積立)				
(単位：円)				
勘定科目	2025年度予算額	2024年度予算額	増 減	2024年度決算額
前年度繰越金	9,002,563	8,002,427	1,000,136	8,002,427
本年度組入金	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000
預金利息	1,000	1,000	0	136
本年度取崩額	0	0	0	0
準備金積立合計	10,003,563	9,003,427	1,000,136	9,002,563

(支出の部)				
(単位：円)				
勘定科目	2025年度予算額	2024年度予算額	増 減	2024年度決算額
学生への援助	30,700,000	30,100,000	600,000	25,185,957
大学への援助	7,000,000	7,000,000	0	7,000,000
父母会事務 運営等諸経費	6,130,000	7,230,000	△ 1,100,000	7,510,080
準備金積立組入	1,000,000	1,000,000	0	1,000,000
予備費	50,934,633	52,805,356	△ 1,870,723	0
次年度繰越金	0	0	0	56,404,633
支出の部合計	95,764,633	98,135,356	△ 2,370,723	97,100,670

2025年度父母会役員の選出について

2025年度父母会役員として、38名（会長1名、副会長2名、会計2名、会計監査2名、委員31名）の選出が承認されました。なお、氏名の掲載につきましては省略させていただいております。

懇親パーティー

総会終了後、懇親パーティーが開催され、学長・副学長をはじめ教職員も加わり、多くの方にご参加いただきました。教員に質問や相談をしたり、情報交換をしたりと、有意義な時間となりました。

途中、駿輝祭実行委員の学生より日頃の感謝と今年の駿輝祭開催への意気込みが伝えられ、大きな拍手に包まれていました。

ご参加いただいた会員の皆様、役員の皆様、そしてご尽力いただいた教職員の方々に厚く御礼申し上げます。

（父母会事務局）



就職セミナー

父母会総会当日の6月7日(土)12:30より、キャリアセンター教員及びキャリアセンター事務部長による就職セミナーを本学第二講義棟で開催し、合計133名の保護者の皆様にご参加いただきました。

キャリアセンターでは、今後も定期的に保護者対象のセミナーを開催して参ります。

《1・2年次生 保護者向け》

就職活動に必要な力とは? ~1・2年次生のうちから必要な準備~

キャリアセンター教授 梅村 慶嗣

1. 就職実績について

本日のセミナーでは1・2年次生のうちから就職活動への備えをいかにすべきかについて本学のキャリア教育や就職支援の実績もあわせながらお伝えします。まず、本学の直近2年間の就職実績ですが、2024年度の就職率は2023年度の99.0%とほぼ同水準の98.6%と大変高い実績を残すことができました。埼玉県に所在する大学の就職率平均が今年度は96.3%でしたので、おかげさまでこちらも上回ることができました。

2. イマドキの就職活動

次に「イマドキ」の採用試験の特徴である「複雑化」「大量化」「早期化(長期化)」についてお伝えします。

まず1つ目の「複雑化」ですが、これは「企業の採用プロセスが複雑化している」という意味です。現在では、履歴書の他に各企業が独自に課す自己紹介書であるエントリーシート(ES)があります。学生は企業ごとにESを作成しなければならず、かなりの負担となります。また、面接も「リモート面接」や「録画面接」など複雑化しているだけでなく、グループディスカッション(GD)など、採用試験の内容そのものが多様化しています。

2つ目の「大量化」、これはすなわち「就職に関連する情報が膨大になっている」という意味です。1つの就活サイトだけでもかなりの情報量ですが、学生が登録しているサイトは通常1つだけではないですから、その情報量たるや大変なものです。

3つ目の「早期化」、これは実質的な採用選考の時期が今まで以上に前倒しになっているということです。3年次の夏からインターンシップ(5日間以上の期間要件等を満たす就業体験)やオープンカンパニー(1日程度で終わる企業説明会のようなもの)が本格化しますが、これを接点として企業側は学生の囲い込みを図ろうとしますので、学生からすると3年次の春学期という早い時期に準備をしなければならなくなります。

3. 1・2年次生のうちから必要な準備

このような状況に対応するため、本学ではその準備として早い時期から体系的なキャリア教育による積み上げを行っています。例えば1年次では「大学生活になじむ」、2年次では「さまざまな仕事や職種・企業などを知って視野を広げる」、そして3年次で「さまざまな選択肢の中から選んで、実際に動く」といった目標を掲げ、各年次においてその実践を行っています。

これに加えて、ぜひご家庭でも準備していただきたいことがあります。1つは、親御さんたちの働く体験談のようなものを、社会人の先輩としてお子様方にお伝えいただければと思います。仕事の大変さや厳しさだけでなく、まずは働く楽しさや有意義な部分をお伝えいただくことによって彼らの中に働く意識が醸成され、就職活動をポジティブに捉えることができるようになります。また、ぜひ社会的活動、例えば他者と関わるようなアルバイト経験をさせてあげてください。学業優先が大前提ではありますが、さまざまな年齢や背景をもつ人たちに揉まれる経験というのは学生を大きく成長させることができます。今後とも大学とご家庭が連携をとりながら、さまざまな機会を活かして学生に自信を持たせ、キャリア意識や就職活動に向き合う力を醸成させていきます。



《3年次生 保護者向け》

2027年卒就職活動に向けての準備 保護者編～就活はこんな風に進んでいく～

キャリアセンター講師 石橋 英理

従来の対面を中心とした選考に加えてオンラインによる会社説明会や面接の実施、インターンシップ（オープンカンパニー）の拡充により、6月1日時点での2026年卒の内定率は81.6%でした（就職プロセス調査（6月9日発行））。

そこで6月の父母会では、①就職活動の現状と支援体制について、②保護者の方による積極的支援のヒント、この2点を中心にお伝えいたしました。

1.就職活動の現状と支援体制について

就職活動はナビサイトを通じて行うのが一般的です。春学期の3年次生必修科目「キャリア実践Ⅰ」では、インターンシップやオープンカンパニーに参加する前提で、ナビサイトへの登録、自己理解、自己PR、企業研究、ビジネスマナーを対面で学びます。

その後の活動スケジュールは、3年次生が終わる直前の3月に一斉に会社説明会が始まり、筆記試験、面接といった選考を受け、4年次生の6月初旬にかけて内々定が出る、という流れです。しかし前述した通り、6月時点の内定率から推測すると、企業によっては3月よりも前に面接や会社説明会を含む採用活動を始めているケースが増加している傾向です。

本学のキャリア個別支援では、全学生が自由に相談できる窓口を設けつつ、学生の方が3年次になった際には担当のキャリアアドバイザーを配置し、不安を段階的に解消しながら進路選択に取り組める体制を整えております。就職活動電子カルテを基に、学生本人の志向、状況、および課題を詳細に把握し、適宜求人情報を提供しつつ、内定獲得までサポートを継続します。

2.保護者の方による積極的支援のヒント

就職みらい研究所の調査によると、保護者との関わりで良かったこととして、「個性を尊重し、自分の活動を肯定してくれた」が最も多い結果でした。次いで「普段と同じ態度、見守り役、聞き役に徹してくれた」「スーツなど物質的援助をしてくれた」「励まし、癒し、心の支えになってくれた」との声が続きます。

講座では、お子様の自己評価を向上させるための支援方法と

して、「リフレーミングによる自己効力感の向上」について詳述いたしました。アルバートバンデューラの研究で、自己効力感が上がると能動的な行動が促進されることが検証されているからです。人は不安な気持ちになるとネガティブな表現が増加します。たとえば「私はこれしかできない」という「しか」表現がその一例です。その言葉を聞いたら、すかさず「あなたはこれならできる」、「大学に通うことしかしていなかった」であれば、「大学には通っていた」といった具合にネガティブな表現をポジティブなものに変換して返してあげてください。

今後も本学では、教員、キャリアアドバイザーが一体となってお子様を支援していきます。ご家庭でも何か心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。



《4年次生 保護者向け》

最新の就職活動の動向と最終学年における保護者の皆様の支援

キャリアセンター長 城井 光広 キャリアセンター事務部長 相馬 順子

1. 就職実績と活動の現状

優れた就職実績

2024年度(2025年3月卒)の本学の就職率は98.6%を達成し、大学平均(98.0%)や私立大学文系平均(98.2%)を上回る高い水準を維持しています。また、就職の質を表す指標の一つ東証プライム・スタンダード市場上場企業への就職実績は141名で、昨年度から24名増加しました。

早期化・長期化・多様化する就職活動

就活解禁日にはルールがありますが、実際は大学3年次の6月頃のインターンシップ等から実質的な選考が始まり、早いと10月頃には内々定がスタートするケースが見られます。活動窓口はナビサイト(マイナビ等)、エージェントなど多様化し、多くの選択肢から最適なものを選択する能力も問われています。選考ターンは短期間で何度も繰り返されるようになり、長期化傾向がますます加速しています。

就活先業界動向とオンライン化

民間企業就職希望学生(就活生全体)に人気の業界は、1位が「ソフトウェア・情報処理・ネット関連」で、「通信、電力・ガス・エネルギー」などの公共性の高い業界や、旅行需要の回復に伴う鉄道・航空業界の人気も上昇しています。また、就職活動の多くのプロセス(会社説明会、面接)で「オンライン化」が進み、大学では、自宅で環境が整わない学生への教室貸出のサポートを行っています。

2. 企業・学生・キャリアセンター(キャリア教育・就職支援課)

企業が求める人材像

企業が学生に求める能力は、①コミュニケーション能力(傾聴、チームワーク)、②向上心・チャレンジ精神、③主体性・行動力・実行力などがあげられます。

学生の就活軸

学生は「自分に合った仕事」「強みを活かせるような仕事」に加え、安定性、福利厚生、ライフワークバランス(仕事と私生活の均衡)を重視する傾向が強まっています。

キャリアセンターの役割

複数名の担当キャリアアドバイザーによる個別面談を随時提供し、進捗確認、企業情報収集、ES・履歴書の添削、面接練習などの実践的なサポートを行っています。「求人票からは見えない企業や社会のリアル」を伝え、就職をゴールではなく「キャリア形成」という視点で学生と一緒に考え、学生にとって最良の企業選択をサポートしています。

3. 学生の悩みと保護者の皆様のサポート

就職活動が進まない焦り、周囲との比較による不安、親への心配をかけたくないという思い、就活費用の懸念など、学生はこの時期、精神的に不安定になりやすいため、周囲の理解とサポートが不可欠です。保護者の皆様は、お子様にとって一番身近な応援団です。温かい見守りが大きな励みになります。

- 1) 見守る(焦らせず、信じる)
- 2) 話を聴く(アドバイスよりも共感を)
- 3) 励ます(「がんばってるね」の一言)

4. ひとりひとりと

学部ゼミ担当教員、キャリア専任教員、健康相談室カウンセラー他各課と常に連携を取り、学生一人ひとりを全学体制で支援しています。気になることがございましたら、いつでもご相談ください。



● お問い合わせ先

キャリアセンター(キャリア教育・就職支援課)

TEL: 042-972-1131(直通)

開室時間: 月曜日～土曜日 9:00～17:00

(休日・大学休業日を除く)

キャリア支援のご案内

キャリアセンターでは、学生のキャリア支援のため以下のようなサポートを行っております。保護者の皆様からもお子様の進路希望に合わせて、キャリアセンターを活用するようアドバイスをお願い申し上げます。

1. 支援体制について

<就職支援行事>

企業説明会や面接対策講座など、年間を通して多彩な行事で学生を支援します。行事予定は、その都度ポタロウにて保護者の皆様にもお知らせさせていただきます。

<キャリアアドバイザーの個別相談>

キャリアセンターでは、「将来の進路のために、今は何をしたらいい?」「資格取得にチャレンジしたい!」「公務員になるためにはどんな準備が必要?」等、学生の進路に関する相談を受け付けています。3年次生になると担当アドバイザーが面談等で、進路希望を把握し進路決定まで個別にサポートしていきます。

<サポート体制>

本学では、キャリア教育専任教員、ゼミ担当教員、担当アドバイザー、就活応援サポーター（内定が決まった4年次生有志）等による多面的な支援を行っています。一人で悩まずに、気軽にキャリアセンターへ相談するよう、お子様にお声かけください!

<キャリアセンター窓口のご案内>

TEL：042-972-1131（直通）

開室時間：月曜日～土曜日 9:00～17:00

（休日・大学休業日を除く）

【キャリアアドバイザーの個別相談】9:00～11:30／12:30～17:00

※対面・オンライン可、要予約

2. 資格取得講座「キャリアカレッジ」について

本学では、学内で資格取得講座の受講ができます。合格すると、奨励金の支給、単位認定としても活用できます（一定の条件有、対象の資格に限ります）。

<2026年度開講予定講座>

講座名	開講時期
宅建士合格講座	5～10月
日商簿記検定3級合格講座	5～6月
秘書検定2級合格講座	10～11月
ITパスポート試験合格講座	5～7月
3級ファイナンシャル・プランニング技能検定試験合格講座	5～7月
保育士合格講座	6～7月

3. 公務員講座について

本学では、学内で公務員講座の受講ができます。

<2026年度開講予定講座>

	講座名	開講期間	対象
教養試験対策	公務員講座Ⅰ 【入門】	2027年2月	2年次生（現1年次生）
	公務員講座Ⅱ 【基礎】	2026年5月～12月 （8か月間）	3年次生（現2年次生）
	公務員講座Ⅲ 【直前】	2027年2月～5月 （4か月間）	3年次生（現2年次生） ～4年次生

<各講座受講のポイント>

◆大学内で受講可能 ⇒ 効率よく学べる。予備校より低価格。

◆専門講師による講義 ⇒ わかる・できるまで徹底指導!

※各講座については、4月に行われるガイダンスで学生へ説明します。

※各講座の内容は変更となる場合があります。パンフレット「資格取得講座・公務員講座」をご覧ください。

4. 保護者向け就職サポートガイド「WITH」について

就職活動の現状・スケジュール、駿河台大学のキャリア支援システム、ご家庭の支援ポイントについて記載したパンフレットです。家庭内での就活中のお子様の支援について、アドバイスなどを掲載しております。

保護者の皆様は、お子様にとって人生の先輩であり大切な相談相手です。うまくいかない時こそ、お子様を信じ、そっと背中を押してあげること、時には見守っていただくことが大切です。



こちらよりご覧ください。

就学説明会

父母会総会当日の就学説明会は本年で、35回目となりました。多くの皆様に出席をいただきまして、ありがとうございます。説明会では、卒業要件や履修登録及び成績通知書の見方等に関して、学部ごとに説明を行いました。参加されたご父母の皆様は、各学部の説明会会場で熱心に耳を傾けていらっしゃいました。

説明会の冒頭に各学部長より、ご父母の方へ日頃のご支援に対する御礼とご挨拶をかねて学部の近況などについての報告があり、引き続き、教務担当の教員から以下の事項についての説明を行いました。



● 単位制・卒業要件等

単位制とは、定められた基準に従って授業科目を履修し、所定の試験に合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得する制度です。そして、卒業するためには、この単位を積み重ねて卒業要件単位数を満たすことが必要となります。

なお、全授業科目は、いくつかの科目群に分けられており、科目群ごとに修得しなければならない最低単位数が決められています。従いまして、卒業するためには修得単位数の合計だけでなく、それぞれの科目群ごとの基準も合わせてクリアしなければなりません。卒業に必要な最低単位数は次のとおりです。

【卒業に必要な最低単位数】

124単位（全学部共通）

● 履修登録・時間割

毎年4月当初に、学生自らが1年間の計画を立てて、履修する科目を大学に届け出ることを履修登録と呼びます。

学生は、多くの授業科目の中から履修する科目を選択することになりますので、必然的に時間割は、学生ごとに異なります。選

択の仕方によってはまったく授業のない曜日を作ることも可能ですが、他の曜日の授業が過密になりますので、決して望ましい時間割とはいえません。

● 年間履修上限単位と年次計画

履修登録単位数は、学習の成果が十分に上がる範囲に留める必要があります。そのためにも本学では、年間の履修登録単位数の上限を次のとおり設定しています。

【履修上限単位数】

学 部	上限単位数			
	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
全学部	44	46	46	46

このため、『卒業に必要な最低単位数』から『4年次に履修ができる上限単位数』を減じた単位数を、3年次終了時点で修得していない場合には、4年間で卒業できないことになるので注意が必要です。

また、4年次生になりますと就職活動が多忙になり、就職試験等で授業への出席が難しくなる時期があります。これを踏まえて3年次までに卒業に必要な単位の9割近くを修得できるように年次計画を立てることが望ましいといえます。

実際の単位修得状況については、各学年において多くの学生が履修可能な単位数の9割以上を修得した望ましい状況になっています。



● 単位修得状況

昨年度までの各学部・学科・学年別の平均単位修得状況は以下のとおりです。年次については、現在の学年を表記しています。

学 部	年 次	平均修得単位数
法	2 年次	38.5単位
	3 年次	79.7単位
	4 年次	110.1単位
経済経営	2 年次	38.4単位
	3 年次	79.9単位
	4 年次	108.0単位
メディア情報	2 年次	38.6単位
	3 年次	75.2単位
	4 年次	108.0単位
スポーツ科	2 年次	39.1単位
	3 年次	80.8単位
	4 年次	116.5単位
心 理	2 年次	38.0単位
	3 年次	76.5単位
	4 年次	109.3単位

なお、学部・入学年度によって、卒業単位数や年間履修上限単位数が異なりますので、学部・学年間での比較は単純にはできません。

● 成績内容

成績結果には順位というものはありません。また、合計修得単位数は、履修の仕方等により個人差があります。成績は、100点満点中60点以上が合格、60点未満が不合格となります。合格者の成績評価は、原則として相対評価によって行われ、評価割合に基づいてA・B・C・Dの評価が与えられます。仮に修得単位数が多くても、その評価が「C評価」や「D評価」ばかりでは、決して良い成績とはいえません。

成績評価割合は次のとおりです。なお、演習科目など一部の科目については、科目の性質上、相対評価の除外科目となっています。

【成績評価割合】

表記	評価割合	合 否
A	20% (±5%)	合格
B	30% (±5%)	
C	30% (±5%)	
D	20% (±5%)	
N	注 参照	不合格
F	単位修得条件未充足	

注)「N」表記は、他大学・短期大学・専門学校等の高等教育機関において修得した成績を本学のカリキュラムの科目として認定した単位で、卒業要件単位に算入されます。

● GPA

本学では、成績評価に際してGPAを導入しています。GPAとはGrade Point Average(グレード・ポイント・アベレージ)の略で、成績評価A・B・C・D・Fに対して、それぞれ4・3・2・1・0のグレード・ポイントを付与し、各科目の単位数にこのグレード・ポイントを乗じたものの合計を、履修科目の総単位数で除したものです。このGPAの数値は入学から卒業まで累積されます。そして修得単位数とともにこのGPAの数値を確認することで学習到達度を測ることを目的としており、個々の学生への学習指導に用いられるほか、奨学生、表彰生、派遣・交換留学生等の選考の際にも資料として使用されます。



※成績通知書は、毎年4月(前年度までの成績を記載)及び10月(春学期末までの成績を記載)に発表されますので、別途案内をしております、父母の方専用IDからログインできますポータルサイトを通してご確認ください。

就学説明会は、おおよそ以上のような内容で行われました。

また、当日の説明会終了後に、ご父母の方から個別でのご相談をお受けいただきましたが、その多くが成績に関する内容でした。なお、成績等、就学に関するご相談は、父母会総会の当日だけでなく、常時お受けしていますので、何かが不明な点やご心配な点がありましたら、教務課までご連絡いただきますようお願いいたします。

● お問い合わせ先

教務課

TEL: 042-972-1110 (直通)

開室時間: 月曜日～土曜日 9:00～17:00

(休日・大学休業日を除く)

互助会理事会報告

互助会

父母会総会当日の6月7日(土)12:30より、本学第二講義棟4階第4会議室において、新旧理事10名、監事2名の出席により、2025年度駿河台大学互助会理事会が開催され、審議の結果、以下のとおり決議及び承認されました。

1. 2024年度事業並びに収支決算

2024年4月1日～2025年3月31日

(収入の部)		(△は減を示す。単位:円)		
勘定科目	2024年度予算額	決算額	決算額-予算額	備考
前年度繰越金	176,899,993	176,899,993	0	預金及び現金
会費	41,240,000	40,190,000	△ 1,050,000	1～4年次生(院生含む) ※互助会費は年額10,000円
受取利息	100,000	85,552	△ 14,448	普通預金利息59,938円 定期預金利息25,614円
預り金	0	132,500	132,500	インフルエンザワクチン 接種費補助本人負担分 (@500×265件)
傷害保険料	0	0	0	脱退者保険料戻り
個人賠償責任保険料	0	78,120	78,120	交換留学生・脱退者保険料戻り
収入の部合計	218,239,993	217,386,165	△ 853,828	

(支出の部)		(単位:円)		
勘定科目	2024年度予算額	決算額	決算額-予算額	備考
●事業費	74,600,000	39,640,721	△ 34,959,279	
後遺障害見舞金	2,000,000	0	△ 2,000,000	発生せず
病气死亡弔慰金	15,000,000	6,000,000	△ 9,000,000	保証人@100万円×6件
傷害死亡弔慰金	5,000,000	0	△ 5,000,000	発生せず
災害見舞金	500,000	0	△ 500,000	発生せず
器物破損補助金	500,000	0	△ 500,000	発生せず
傷害保険料	6,000,000	4,501,920	△ 1,498,080	学生教育研究災害傷害保険料(付帯賠償責任保険である学研賠)(財)日本国際教育支援協会へ支払
傷害医療金	1,500,000	228,595	△ 1,271,405	24件
スポーツ医療金	2,000,000	296,740	△ 1,703,260	22件
傷害見舞金	1,500,000	185,000	△ 1,315,000	17件
個人賠償責任保険料	6,000,000	4,993,480	△ 1,006,520	2025年度分掛金
災害被災者学費援助金	6,000,000	0	△ 6,000,000	発生せず
疾病対策費	7,000,000	1,964,860	△ 5,035,140	インフルエンザワクチン接種費用補助、教育実習・介護体験実習生等の麻疹・風疹抗体検査補助、抗体検査結果証明書費用(麻疹・風疹)
AED設置費	1,600,000	1,337,626	△ 262,374	AEDリース料12台
預り金	0	132,500	132,500	インフルエンザワクチン接種費補助本人負担分(@500×265件)
施設設備関係寄附	20,000,000	20,000,000	0	施設・設備の拡充・環境整備等
●運営事務費	7,700,000	3,714,018	△ 3,985,982	
職員人件費	2,000,000	0	△ 2,000,000	
消耗品費	150,000	0	△ 150,000	
印刷費	3,800,000	3,702,798	△ 97,202	「保護者の方のためのしおり」作成費 「キャンパスライフナビ」アプリ導入費
旅費交通費	500,000	0	△ 500,000	
通信費	750,000	0	△ 750,000	
会議費	200,000	0	△ 200,000	
雑費	300,000	11,220	△ 288,780	振込手数料
●予備費	135,939,993	0	△ 135,939,993	
小計(当年度分計)	218,239,993	43,354,739	△ 174,885,254	
●次年度繰越金	0	174,031,426	174,031,426	預金及び現金
支出の部合計	218,239,993	217,386,165	△ 853,828	

2. 2025年度収支予算

2025年4月1日～2026年3月31日

(収入の部)		(△は減を示す。単位:円)		
勘定科目	2025年度予算額①	2024年度予算額②	①-②	2024年度実績額
前年度繰越金	174,031,426	176,899,993	△ 2,868,567	176,899,993
会費	39,720,000	41,240,000	△ 1,520,000	40,190,000
受取利息	100,000	100,000	0	85,552
預り金	0	0	0	132,500
個人賠償責任保険料	0	0	0	78,120
収入の部合計	213,851,426	218,239,993	△ 4,388,567	217,386,165

(支出の部)		(単位:円)		
勘定科目	2025年度予算額①	2024年度予算額②	①-②	2024年度実績額
事業費	74,600,000	74,600,000	0	39,640,721
運営事務費	5,900,000	7,700,000	△ 1,800,000	3,714,018
予備費	133,351,426	135,939,993	△ 2,588,567	0
次年度繰越金	0	0	0	174,031,426
支出の部合計	213,851,426	218,239,993	△ 4,388,567	217,386,165

3. 2025年度役員の選出

駿河台大学互助会会則に基づき、以下9人の互助会役員(理事、監事)が選任されました。なお、役員の氏名掲載につきましては、省略させていただいております。

○駿河台大学互助会会則第6条第1号に基づく理事7人

- ・第7条第1号 駿河台大学父母会の役員の中から役員会において選任した者 3人(父母会会長、父母会副会長2人)
- ・第7条第2号 学校法人駿河台大学教職員の中から選任した者 4人(学生支援担当副学長、事務局長、財務部長、学生支援部長)

○駿河台大学互助会会則第6条第2号に基づく監事2人

- ・第10条第1号 駿河台大学父母会の役員の中から役員会において選任した者 1人(父母会会計監査)
- ・第10条第2号 学校法人駿河台大学教職員の中から選任した者 1人(総務部長)

《互助会について》

駿河台大学互助会は、学生の在学中における不測の事故(正課授業中・課外活動中及び通学中における死亡・負傷等)が発生した場合に、必要な相互扶助を行い、あわせて学生の福利厚生及び学内施設・設備に対する必要な助成を行うことを目的に設立されました。年会費は、毎年授業料と共に1万円を徴収させていただいております。この互助会制度は、多数の方々のご理解により運営されるものであり、援助の内容におきましても、会員の皆様のご要望に応じてより充実したものとしていく所存です。この制度が、少しでも学生の経済的・精神的な負担を軽減し、学業及び課外活動に専念しやすい環境づくりに役立つものとして大いに機能してほしいと願っております。

(互助会事務局)



傷害医療金・傷害見舞金について

● 傷害医療金

本学学生が加入している「学生教育研究災害傷害保険金（略称：学研災）」の補償対象外の場合は、以下の内容で本学互助会から傷害医療金が給付されます。

	内容	給付額
正課中	治療日数1～3日が対象	通院治療に要した費用が3,000円を超えた場合3,000円を限度とし超過分を実費で給付 ※3,000円までは学研災より給付
学校行事中		
学校施設内（課外活動を除く）	治療日数1～6日が対象	通院治療に要した治療日数が ・1～3日の場合、費用15,000円を限度とし実費を給付 ・4～6日の場合、費用6,000円までは学研災より給付し、6,000円を超えた場合9,000円までの超過分を互助会より実費で給付
通学中		
学校施設等相互間の移動中		
課外活動中	治療日数1～13日が対象	通院治療に要した費用30,000円を限度とし実費で給付

● 傷害見舞金

学研災や傷害医療金の対象者で、通院及び入院実日数が7日以上の場合、日数に応じて以下の見舞金が給付されます。

治療日数	給付額
7～13日	5,000円
14～29日	10,000円
30～59日	15,000円
60～89日	20,000円
90～119日	25,000円
120～149日	30,000円
150～179日	35,000円
180～269日	40,000円
270日～	50,000円

● 申請手続きの流れ

事故発生

互助会事務局（学生支援課）への申出

事故発生後 30 日以内に事故の概要を互助会事務局（学生支援課）に申し出てください。

申請書等の提出

治療終了後、申請書及び領収書原本を提出してください。
提出の際には、学生証、診察券を確認します。

審査

治療日数によって 2 種類に分かれます。

学研災で申請不可能な場合

支給審査は互助会事務局（学生支援課）にて行います。

学研災で申請可能な場合

支給審査は保険金支給の確認をもって行います。

支給

本学ポータルサイト（ポタロウ）などで当該学生に支給の旨を通知します。
その他、スポーツ医療金などの制度につきましては、「保護者の方のためのしおり」でご確認ください。ご不明な点は、互助会事務局（学生支援課）までお問い合わせください。

TOPIC ウォーターサーバーを設置しています



2024年4月より、第二講義棟1階と講義棟1階に設置しています。このサーバーは、誰でも無料で冷水、常温水、お湯を利用できます。

この取り組みは、父母会のご協力により、学生向けのサービス向上を目的とするだけでなく、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献を目的として導入されました。マイボトルの使用を奨励し、プラスチック廃棄物の削減に取り組むことで、SDGsへの意識を高めることを目的としています。

この取り組みを通じて、多くの学生にSDGsの重要性をより身近に感じてもらえることを期待しています。

本学は今後もSDGsの推進を積極的に進めてまいります。



父母会支部会

第29回 2025年度父母会地方支部会 開催

去る2025年9月6日(土)父母会地方支部会が、長野県長野市の「ホテルメトロポリタン長野」で実施されました。

この支部会は昨年度の群馬県前橋市の「群馬ロイヤルホテル」に続き29度目となります。当日は、13時から14時まで個別相談会(教務・就職関連)、14時から15時まで支部会総会が実施されました。支部会総会では山崎里子父母会会長による挨拶の後、大学近況報告(大森一宏学長・佐藤功一学生支援部長・相馬順子キャリアセンター事務部長)がなされました。また、長野県若年者就業サポートセンター(ジョブカフェ信州)高橋知也様による講話「長野周辺の就職事情」を開催いたしました。参加されたご父母の皆様は、メモを取りながら熱心に聞き入っていらっしゃいました。

支部会総会終了後は、同じ会場内で開催されていた駿河台大学同窓会長野支部会との合同懇親会へと続き、保護者、卒業生、大学関係者が一堂に会する賑やかな懇親会となりました。

お忙しい中、支部会にご参加くださいました保護者の皆様に厚く御礼申し上げます。

(父母会事務局)

2025年9月6日(土)プログラム

時間	業務及び分担内容
13:00～14:00	【個別相談会】
14:00～15:00	【支部会】 1. 父母会役員・大学役職者紹介 2. 父母会会長挨拶 3. 学長挨拶 4. 大学近況報告 5. 就職事情「長野周辺の就職事情」
15:00～16:00	【父母会・同窓会合同懇親会】 1. 学長挨拶 2. 乾杯(父母会前会長) 3. 中締め(同窓会長野支部会長)



大学は今

学生親睦企画実施報告

学生支援課では、学部学年の枠を超えて学生間での交流を深めてもらうために、年に7～8回程度、学生親睦企画を実施しています。2025年度に実施した学生親睦企画の中から、2企画で紹介させていただきます。

● 実施報告① アロマクラフト体験

7月10日(木)に「アロマクラフト体験」を実施しました。

この企画はさいたま市浦和区にあるアロマ教室【Aroma_Honoka(アロマほのか)】から木村様と浅井様を講師にお招きし、本学のオリジナル企画として実施しました。

初めに「嗅覚反応分析体験」を行い、グラフから分かる自分のタイプ、タイプ別のケア方法やおススメの香りについて解説いただき、続いて5種類の精油を15滴程度混ぜ合わせオリジナルブレンドし、自分だけのアロマスプレーを作製しました。精油のサンプルの匂いを嗅ぎながら、どの精油をどのようにブレンドするか悩み、参加者同士の会話も弾んでいました。



参加した学生のアンケートからは、以下のような嬉しい感想が寄せられました。

「とても楽しかったです!!周りは誰も知らない人でしたが、わいわい楽しくできたのが良かったです」

「嗅覚に自信がなく、これを機に好きな香りを知れたらいいなと思い参加しました。友人を誘う前に枠が埋まってしまい、一人で行くのが不安でしたが、みんな夢中で診断やアロマ作りに取り

組んでいて、ブレンドした香りの感想を言い合ったりするのが楽しかったです」

● 実施報告② フットサル大会2025

11月20日(木)に多目的グラウンドにて、学生親睦企画「フットサル大会2025」を行いました。

この企画は、体調を崩しがちな寒い季節でも体を動かし健康維持と学生間の親睦を図ることを目的としており、24名の学生が参加してくれました。当日は天候にも恵まれ、絶好の運動日和となりました。

4チームに分かれて試合を行った後は、参加賞として全員に飲み物とカップラーメンが配布されました。



試合も非常に白熱し、参加した学生からは、「こんなに運動する機会は入学してからあまりなかったので良かったです」「いろいろな学年、学部の方と交流できて楽しかったです。なにより、僕たち4年生からすると良い思い出作りになりました!」といった感想が寄せられました。

学生支援課公式アプリ「キャンパスライフナビ」

アプリを活用した
学生親睦企画も
実施しています!

「キャンパスライフナビ」は、学生支援課が運営する大学に関する情報が掲載されているアプリです。現在の大学の状況を知るには、最適なアプリとなっています。また、電子パンフレットとして『菩提樹』や『SPORTS CLUB GUIDE』などもご覧いただけます。

保護者の皆様もインストール可能ですので、本学の最新情報をご覧いただければと思います。



ダウンロードはこちらから



ボランティア活動報告

ボランティア活動支援室では、ボランティア講座の実施や、近隣地域のボランティア情報等を掲示し、ボランティア活動に関心のある学生のサポートをしています。今回は学内で実施したボランティア講座についてご報告いたします。

● 当事者の視点を再現したVR体験研修講座

6月19日(木)15:00～、ボランティア講座の一環として「当事者の視点を再現したVR体験研修講座」を実施しました。本講座は、(株)NTTExCパートナー提供の「専門家監修による発達障がいのある人々に対する理想的な支援を、リアルな当事者の視点を再現したVR映像を通して学ぶことができる体験型プログラム」です。

埼玉県立大学保健医療福祉学部の田坂翔太先生を講師にお招きし、発達障がいの特性や適切な接し方・支援をするための基礎知識について、「当事者の視点を再現したシナリオのVR映像」を用いながら解説をしていただきました。最後には、参加した学生が講座を受講して感じたことや感想等を4つのグループに分かれてディスカッションをし、活発な意見交換がなされました。



【使用したVRゴーグルと忍者マスク】



【VR体験の様子】

星野 真里奈さん(心理学部4年)

私がVR体験研修に参加したきっかけは、発達障がいのある子どもへの理解を深めたいと感じたからです。

VR体験研修では、発達障がいのある子どもが学校生活の中でどのような困難を感じているのかを、当事者の視点から体感することができました。このような体験を通して、客観的な理解ではなく、実際に体験することで得られる深い気づきの大切さを実感しました。今後は、支援を行う際に、相手の感じ方を尊重する姿勢を大切にしていきたいと思います。

● 点字体験講座

1月15日(木)13:20～「点字体験講座」を実施しました。

本講座は、視覚障がいについての理解と認識を深めるとともに、点字による日常会話に必要な単語や表現技術を習得することを目的に実施いたしました。講師として飯能市の点字サークル「つくしんぼ」の皆様をお招きし、簡単な点字の読み取りや点訳

体験をご指導いただきました。

講座に参加した学生からは「点字器や点字が印字された道具に触れることができ、貴重な体験ができた」「点字付きの道具や点字を打つ道具など、知らないものにたくさん触れることができて良い機会だった」などの声が寄せられました。



駿輝祭が開催されました！

第39回駿輝祭は10月25日(土)と26日(日)に開催いたしました。

今回は『駿風』のテーマに基づき、新しい取り組みとして「d払い決済(キャッシュレス決済)」を導入しました。残念ながら両日とも雨が降ってしまいましたが、屋外での学生模擬店の出店、東国原英夫氏をお迎えしての父母会・同窓会共催講演会や駿大味王グランプリなどさまざまな企画があり、盛況のうちに終了しました。また、各団体のステージ発表や教室展示をはじめ、Special Live「水曜日のカンパネラ」はチケットが完売し、お笑いライブも大好評でした。

今回も、多くの方が駿輝祭に足を運んでくださいました。その他ご支援くださった方、駿輝祭開催に向けてご協力いただいた多くの皆様に厚く御礼申し上げます。

● 父母会・同窓会共催 東国原英夫氏講演会

『東国原流 逆転の発想～これからの社会を生き抜く人間力～』実施報告

駿輝祭初日の10月25日(土)13:00～第二講義棟7405教室にて、父母会・同窓会共催の講演会が開催されました。今年は東国原英夫氏をお招きし、【東国原流 逆転の発想～これからの社会を生き抜く人間力～】というテーマでお話しいただきました。当日会場には、卒業生の皆様、本学学生やご父母の皆様、地域の皆様、教職員など多くの方々に越えいただきました。

講演会では、芸人時代の師匠ビートたけしさんとの出会いや、たけし軍団での裏話、宮崎県知時事代のエピソードなども交えながらお話しいただき、数々のピンチや失敗、挫折を乗り越えてきた、東国原英夫さんの人間力の高さを強く感じることができたお話でした。

会場では、東国原英夫さんの軽快でテンポの良いお話に、来場者の方も魅了され、終始笑いが絶えない講演会となり、大盛況のうちに終演となりました。



● 駿輝祭にd払い決済(キャッシュレス決済)が導入されました！

第39回駿輝祭では、一部店舗でd払い決済(キャッシュレス決済)を導入しました。d払い決済を学園祭に取り入れることで、運営の効率化を図り、来場者の満足度向上を目的として、今回初めて導入を試みました。

埼玉県内の大学で、学園祭にd払い決済を導入したのは、本学が初めてとなります。

しゅんた(駿河台大学)・ポインコ(docomo)・とれ蔵(JAいるま野)のゆるキャラコラボが実現！



【オープニングセレモニー】



【docomo イベントブース】



【テレビ埼玉 情報番組「マチコミ」生放送に駿輝祭実行委員が参加】

学内展示表彰式

駿輝祭における学内展示・発表を促進していくことを目的に、毎年優れた展示や発表を行った団体に対し「理事長賞」「学長賞」「奨励賞」「同窓会長賞」の表彰が行われます。展示内容や学生の来場者への対応及び説明などについて評価を行い、各賞の受賞団体を決定し、賞状と表彰金が授与されました。

● 理事長賞

古曳牧人ゼミ（心理学部）

【展示内容】生命のメッセージ展（犯罪被害者支援）

【受賞コメント】小林 朋輝さん（心理学部3年）

この度は理事長賞に選んでいただき、大変嬉しく思います。私たちは、生命のメッセージ展に合わせて、犯罪被害者支援について調べ、発表しました。いただいた賞に恥じないよう、これからも学習に励んでいきたいと思ひます。



● 学長賞

松平光徳ゼミ（法学部）

【展示内容】AIと知的財産の未来を考える

【受賞コメント】金澤 美優さん（法学部3年）

学長賞をいただき大変光栄に思ひます。仲間と協力し、AIと知的財産の関係について深く学べた貴重な経験でした。ご指導くださった松平先生に心より感謝申し上げます。また4年生になっても大好きなメンバーと一緒に頑張ります!!



● 奨励賞

ぬいぐるみ同好会

【展示内容】ぬいぐるみを介した温かな交流の創出

【受賞コメント】西巻 春菜さん（心理学部2年）

ぬいぐるみ同好会は初めて展示企画を実施し、多くのお客様にご来訪いただきました。ぬいぐるみを媒介として人と人との穏やかに関わる空間を目指し、会員一同が協力のもと準備・設営にあたりました。結果として奨励賞を賜りましたことは、活動理念の一端が形となって評価されたものと受け止めております。今後も学内外における交流の深化と地域貢献を念頭に、より実践的な活動を展開してまいります。



● 奨励賞

小川真理子ゼミ（メディア情報学部）

【展示内容】私たちの“リアルな仕事”

【受賞コメント】丹野 星那さん（メディア情報学部3年）

仕事って何だろう？働くってどういうこと？このような問いを軸に様々な職業で日々働く人の背景や想い、仕事場の空気を丁寧に映像に記録しました。職業の種類や肩書きでなく、その人の言葉と表情から“リアルな仕事”を伝えたい——私たちの想いの結実に賞をいただきましたことを感謝いたします。



● 同窓会長賞

井上智史ゼミ（メディア情報学部）

【展示内容】スタジオ「みる」

【受賞コメント】山崎 亮汰さん（メディア情報学部3年）

この度は同窓会長賞をいただき、大変嬉しく思ひます。今回、私たちのゼミでは「価値観」をテーマとしたデザイン作品を展示いたしました。さまざまな視点から「みる」ことについて考え、感じていただけるよう工夫を重ねてまいりました。ご来場くださった皆様に、心より御礼申し上げます。



駿大パフォーマンス賞

屋外ステージや教室などでの演奏やダンス、演劇、映画上映など、日ごろの活動成果を表現・発表する団体への奨励として表彰を行うものです。今年は以下の団体が表彰されました。



ベストパフォーマンス賞

a.c.p【アカペラサークル】

代表 島 琉月さん（メディア情報学部3年）

【受賞コメント】

皆の協力があってこそ賞を獲れたと思います。来年も必ず受賞したいです！



パフォーマンス賞

Unite【ダンスサークル】

代表 吉村 萌衣さん（メディア情報学部3年）

【受賞コメント】

個性的なメンバーと賞を獲ることができて嬉しかったです。

来年も私たちが活動を楽しみたいと思います。



パフォーマンス賞

Septet【声劇サークル】

代表 石田 光舞さん（心理学部3年）

【受賞コメント】

まだ受賞した実感が湧いていませんが、皆で作った作品が評価されたことが嬉しいです。

これからも精進したいと思います。



駿大味王グランプリ 2025



味王グランプリとは、飲食を扱う学生の模擬店の中から「味王」を決めるグランプリ式の企画です。グランプリの結果は、来場者の皆様の投票によって決定しました！

グランプリ

☆☆☆
2位



国際ボランティアサークル
（水餃子・サイダー）

1位



明石ゼミ有志（焼きそば）

☆☆☆
3位



MOLKKY*HEARTS
（ラムネ）

2025年度駿河台大学給付奨学金(修学支援奨学生)

修学意欲が高いものの、経済的理由により修学が困難となっている学生に対し奨学金を給付します(1期・2期)。

● 奨励金概要

【募集対象者】

修学意欲が高く、経済的理由により修学が困難となっている学生

【募集人数／給付額】

募集人数：50名(1期・2期合計)／給付金額：20万円

● 募集日程

【出願期間】

1期：2025年7月1日(火)～7月26日(土)

2期：2025年10月1日(水)～10月23日(木)

※学生支援課窓口へ提出(郵送可、必着)

● 出願書類

①「駿河台大学給付奨学生願書」

②「特に力を入れている学習内容」

③生計維持者の所得に関する証明書(所得証明書)

④公的支援の受給証明書

● 選考

出願資格を満たしている対象者について、提出された書類に基づき、経済状況(生計維持者の所得合計金額等)や成績、出席状況等により総合的に判断する。

● 対象者発表

【採用発表】

1期：2025年10月3日(金)／2期：2025年12月5日(金)

【給付時期】

1期：2025年11月中旬／2期：2026年1月下旬

2025年度駿河台大学父母会奨励金

2002年度より父母会員の皆様のご支援により、文化系の課外活動を奨励するという目的で「駿河台大学父母会奨励金」制度を創設していただきました。今年度の選考結果について以下のとおりご報告申し上げます。

● 奨励金概要

文化系課外活動(下記参照)において顕著な成果を収めた個人または団体に対し、奨励金を給付する。

【募集件数】10件 【給付金額】10万円(1件につき)

【選考基準(参考事例)】

- (1)文化活動関係で顕著な実績をあげた個人または団体
(コンクールやコンテストでの入賞等)
- (2)社会貢献度の高い活動に参加・協力した個人または団体
(ボランティア活動、人命救助、地元イベントへの参加・協力等)
- (3)その他各方面でめざましい実績をあげた個人または団体
(独自に会社を設立した、学内イベントで顕著な活躍をした等)

【選考対象の活動実績】

2024年10月以降の活動実績。ただし2024年度の選考で採用された者で、既に評価された実績は除く。

● 募集要項配布・出願期間

2025年10月1日(水)～10月23日(木)

※学生支援課窓口で配布、またはポタロウからダウンロード

※学生支援課窓口へ提出(郵送可、必着)

● 出願書類

①「駿河台大学父母会奨励金願書」(指定様式)

②特に力を入れている課外活動内容を1,600字以上でWordにて作成した書類

③「活動内容について」(指定様式)

④「活動内容について」で記載した活動内容を証明できる書類

● 選考

出願期限までに提出された書類に基づき、課外活動に関する事項について審議する学生委員会において選考を行う。

● 対象者発表

【採用発表】2025年11月7日(金)

【給付時期】2025年12月下旬

● 採用者・採用団体

【個人】大谷侑己、【団体】茶道クラブ、JOY、吹奏楽部

《採用者からのコメント》

茶道クラブ 岩切 稔さん(法学部3年)

この度は父母会奨励生に採用していただき、誠にありがとうございます。茶道クラブは学内外に茶道という文化を広めることを目標にしています。これからもさまざまな形で茶道を広めていきたいと思ひます。



JOY 杉田 凌馬さん(スポーツ科学部3年)

自らのスポーツ経験を基に、多様な子どもから大人まで幅広い年代の方々に運動・スポーツを楽しむ機会を作り、身体を動かす魅力を発信できるように地域との連携を軸に活動していきたいです。



吹奏楽部 松倉 愛理さん(心理学部3年)

吹奏楽部では「音を魅せる」をモットーに、コンクールへの参加や依頼演奏に励んでおります。2月には定期演奏会を開催いたします。今後とも応援よろしくお願いいたします。



大谷 侑己さん(法学部3年)

今後の活動予定は決まっていますが、今回の海外ボランティアを通して学んだことを活かして、今後は地域や社会に貢献できる取り組みに積極的に挑戦していきたいです。



メディアセンターより

● 学生選書ツアーを実施

夏期休業期間中の8月27日(水)三省堂書店神保町本店(小川町仮店舗)にて、メディアセンター学生スタッフによる、学生選書ツアーを実施しました。学生スタッフは、日頃メディアセンター内で資料の整理・配架業務、図書のPOP制作やSNSの素材制作に奮闘しています。小川町仮店舗では、地下1階から6階まで、



フロアごとにさまざまな書籍が置かれており、学生たちは、メディアセンターに所蔵したいと思う図書をそれぞれ選書しました。学生たちが選書した図書はメディアセンター3階の『学生推薦図書コーナー』に楽しいPOPとともに並べられており、多くの学生に利用される人気コーナーになっています。



森谷 佑海さん(メディア情報学部3年)



今回の選書ツアーでは、人気なものや気になった小説を中心に選択しつつ、学部学びにも繋がりそうな本を選びました。小説は大学内にあるシリーズ物で、巻号が不揃いになっているものも選書したため、この機会に手に取ってみると面白いかもしれません。また、それ以外の本もそれぞれ違った良さがあるのでぜひ借りてみてください!

河原 蒼士さん(メディア情報学部1年)



私は個人で月に数回近所の本屋に行くのですが、住んでいる地域が都心から離れていることもあり、置いてある本のジャンルの種類や、冊数も少なくて物足りなさを感じていました。そのため選書ツアーで御茶ノ水の三省堂を見て回ることができて、自分の知らない本やジャンルに触れられたことに満足し、大きな本屋で本を探すという体験が楽しかったです。

● ラーニング・commons Terrace -テラス- ファミレスブースを増設

メディアセンター3階にあるラーニング・commons Terrace -テラス-では、学生に大人気のファミレスブースを2セットから3セットへ増設しました。ファミレスブースにはモニターも設置されており、グループでの学修などに適しています。今後もラーニング・commons Terrace -テラス-の利用促進を図り、学生にとってキャンパスでの学びがより豊かになるよう、環境を整備してまいります。



● 飯能市立図書館で「Instagram講座」を開催

12月6日(土)、飯能市立図書館多目的ホールにて、飯能市立図書館・駿河台大学メディアセンター連携事業「これから始めるInstagram～新年の挨拶を投稿してみませんか～」を開催しました。この講座は、メディアセンターの学生スタッフとして活躍している岩渕誠太さん(メディア情報学部4年)ら、パソコン相談員11名が講師及びサポートスタッフを務め、Instagram未経験の市民を対象に行われました。企画段階から試行錯誤を繰り返し、学生ならではの視点を存分に活かした本講座は、受講生からの評価も高く、講師役の学生たちにとって貴重な経験となりました。

<https://www.surugadai.ac.jp/news/001973.html>



● 学内タイピングコンテストを開催

6月16日(月)～28日(土)及び11月10日(月)～22日(土)の各2週間、学生たちのタイピングスキルの向上を目的とした恒例の「タイピングコンテスト」をメディアセンター2階特設エリアにて開催しました。大学生や一般的な事務職に求められるタイピングのレベルは1分間あたり100～120文字。6月のコンテストで優勝した廣川和哉さん(心理学部1年)はタイピングツール「Weather Typing」を使い、1分間あたり496文字を入力しました。廣川さんのインタビューを駿河台大学のホームページに掲載していますので是非ご覧ください。

<https://www.surugadai.ac.jp/news/001753.html>



● 「ひとり用ソファブース」を11席設置

学生の多様な学習スタイルと就職活動を支援するため、メディアセンター2階にひとり用ソファブースを11席設置しました。コロナ禍以降、オンラインで実施される授業や企業説明会、採用選考が増えていますが、ブースは周囲の視線を遮断するため、双方向のオンライン授業や機密性の高いWeb面接にも集中して臨めます。また、個人の空間を確保することで、オープンスペースでは難しい深い思考や集中を要する課題にじっくりと取り組むことも可能になります。



古澤 優衣さん(心理学部1年)



授業と授業の間の空き時間にブースを使用することで、課題や作業などに隙間時間を有効活用することができます。また、区切られたスペースなので、周りの目を気にすることなく作業に集中して取り組みます。自宅では気が散ってしまい続かないことも、個人ブースを利用することで課題に集中できる環境を整えられるので助かります。



スポーツ公認団体の活動

● 駅伝部(女子)

**第31回関東大学女子駅伝対校選手権大会9位!
&第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
初出場決定!!**

10月4日(土)に行われた第31回関東大学女子駅伝対校選手権大会で、駅伝部(女子)は9位の結果を収め、第43回全日本大学女子駅伝対校選手権大会への出場権を獲得しました。本大会は23大学が出場し、千葉県印西市千葉ニュータウン周回コースを6区間で争われる大会です。(各大学選手6名、補欠3名のエントリー)

女子チーム創部5年目での初の全国大会出場を果たしました。(全日本大学女子駅伝対校選手権大会の結果については、別ページにて紹介)



駅伝部女子チームの部員たち



5区・橋詰選手

● 駅伝部(男子)

箱根駅伝予選会15位 2年ぶりの本選出場ならず

10月18日(土)に行われた第102回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会で、駅伝部(男子)は15位となり、本選出場に届きませんでした。今年の予選会には10校の枠に対し、41校が参加しました。1チーム14名の登録選手の中で出場できるのは12名まで。その中で上位10選手がハーフマラソン形式の合計タイムで競いました。

残念ながら2年ぶりの本選出場はできませんでしたが、関東学生連合チームに古橋選手(スポーツ科学部3年)が選ばれました。なお、本選では2区で出場し、区間16位(参考記録1:07:59)でした。



沿道の声援を受けて力走する古橋選手

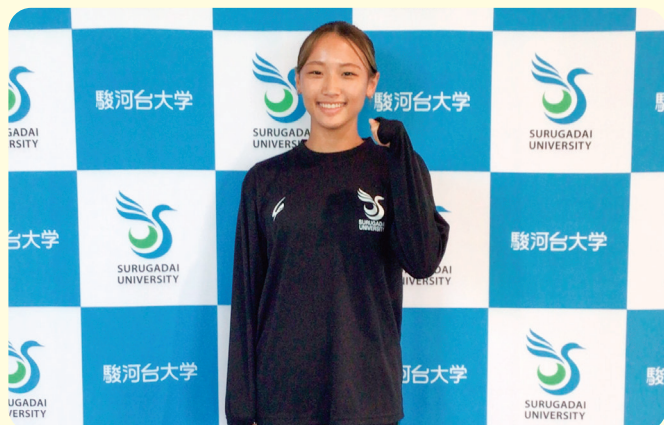
● 陸上競技部

小針選手 香港2025 U20東アジア陸上競技選手権大会 日本代表選出!

2025年9月27日(土)~28日(日)に香港で開催された「香港2025 U20東アジア陸上競技選手権大会」に本学陸上競技部から小針陽葉選手(スポーツ科学部1年)が女子200mで出場し、見事優勝(記録:24秒07)を果たしました。また、女子4×100mRでも第3走で出場し、こちらも優勝を果たしました。

本大会は、2026年に開催される「オレゴン2026 U20世界陸上競技選手権大会」に向けた強化・育成を目的とするとともに、次年度以降のシニアカテゴリーでの活躍へとつながるU20世代の育成を目指した位置づけとなります。

今後の小針選手の世界での活躍にご期待ください。



小針陽葉選手

【体育公認団体 秋季リーグ戦 主な結果】

● 硬式野球部

東京新大学野球リーグ1部に所属する硬式野球部は2勝10敗で6チーム中6位となりました。11月8日(土)からの入替戦・2部1位東京学芸大学との試合は、6-1、12-2で連勝し、1部残留となりました。



エースの長嶋投手

● サッカー部

関東大学サッカーリーグNorte1部に所属するサッカー部の成績は4勝6敗8分の勝ち点20で10チーム中7位でした。来季も1部残留となります。

● ハンドボール部

関東学生ハンドボール連盟男子2部リーグに所属する男子部の秋季リーグ戦結果は、7勝2敗0分で2位となり、1部9位の東海大学との入替戦に臨みました。結果、31-36で敗戦し、2部

残留となりました。

同じく女子2部リーグBブロックに所属する女子部の秋季リーグ戦結果は、10戦全勝で優勝、2部リーグAブロック昇格となりました。

なお、駒崎巧選手(スポーツ科学部4年)が春・秋2季連続での得点王のタイトルを獲得しました。



駒崎巧選手

● 男子・女子ホッケー部

関東学生ホッケー秋季リーグ男子1部に所属する男子ホッケー部は一橋大学との順位決定戦に4対0で勝利し、8チーム中5位となりました。

社会人も含めた高円宮杯2025ホッケー日本リーグの男子H2リーグでは0勝7敗1分勝ち点1で、6チーム中6位でした。

また、関東学生ホッケー秋季リーグ女子1部に所属する女子ホッケー部は8チーム中2位となり、高円宮杯2025ホッケー日本リーグの女子リーグでは0勝9敗勝ち点0で、10チーム中10位でした。

● ラグビー部

関東大学ラグビー連盟リーグ戦3部に所属するラグビー部は8チーム中3位となりました。

● ソフトテニス部

令和7年度秋季関東学生リーグ3部に所属する男子部は3勝2敗で3部残留となりました。

また、同じく3部に所属する女子部は3勝2敗で3部残留となりました。

グローバル教育センターの近況

平素より、グローバル教育センターの活動に格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度の海外派遣につきましては、米国・カリフォルニア大学サンディエゴ校へ2名、中国・聊城大学へ1名、ドイツ・ミュンヘン大学へ1名の学生を協定校への長期留学として派遣いたしました。

一方、海外からの受け入れについては、ドイツ・ミュンヘン大学から3名、中国・聊城大学から4名の学生を本学の留学プログラムに迎え、相互交流を深めております。

また、留学生と日本人学生との交流を目的とした懇親企画も積極的に実施しています。9月9日（火）から10日（水）にかけては、平泉・松島方面へのツアーを開催し、日本人学生12名、留学生8名の計20名が参加しました。現地での文化体験や共同活動を通じ、参加者同士の国際的な交流が一層活発に行われました。

今後もグローバル教育センターは、留学支援および国際交流のさらなる促進に努めてまいります。引き続き、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 留学プログラムの紹介

駿河台大学は、長期留学提携校として、世界7カ国・地域（イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、中国、韓国、台湾）の10大学と交換・派遣留学協定を結んでいます。留学期間は半年から1年となり、伝統のある大学で語学力やコミュニケーション力を学ぶことができます。

また海外語学演習は、春・夏の長期休業期間中に3～5週間程度、指定機関が開講する語学研修プログラムに参加して、外国語、そして異文化を学ぶ科目です。現在、イギリス・アメリカ・フィリピン・オーストリア・フランス・中国・台湾・韓国にある10大学へ送り出しをしています。

2025年夏にカンタベリー・クライスト・チャーチ大学（イギリス）・ウィーン大学（オーストリア）の海外語学演習に参加した学生からの感想と写真を紹介します。

田村 和希さん（メディア情報学部4年）

【イギリス・カンタベリー・クライスト・チャーチ大学へ】

ホストファミリーの方はとても優しく、私の拙い英語でもいつも楽しく会話してくださいました。留学を通じて、言葉を完璧に話すことよりも、相手に伝えようとする姿勢や工夫の方が、コミュニケーションにおいて何よりも大切だと感じました。



奥田 悠真さん（経済経営学部3年）

【オーストリア・ウィーン大学へ】

今回の留学を通して、貴重な時間を過ごせたのはもちろん、初海外での初一人暮らしということで、問題解決をする力と物事を決断する力が成長したと感じています。この経験は確かな自信と人生において貴重な思い出をくれたと強く感じています。



ウィーン軍事史博物館

益田 東吾さん（経済経営学部2年）

【オーストリア・ウィーン大学へ】

クラスにはアメリカ、オランダ、ポーランド、台湾や日本人数名など様々な国の人たちがいました。わからない内容を丁寧に教えてくれたり昼食を食べに行ったりして、とても仲良くなることができました。



グローバル懇親ツアーに行ってきました！

グローバル教育センター 教授 葉 紅（中国語担当）

大学は
今

グローバル懇親ツアーは、今年も父母会の後援を得て、9月9日（火）から一泊二日で行われました。行き先は岩手県の平泉、宮城県の松島という大人気の観光地でした。日本人学生と留学生総勢20名で旅行してきました。

平泉一帯は中尊寺の世界文化遺産登録を受け、町全体も中尊寺の佇まいと調和がとれるよう手入れを進められてきたそうです。中尊寺では、ガイドの説明を聞きながら、金色堂などを見て回りました。二日目は、松島湾で遊覧船に乗りました。松島は260あまりの大小さまざまな島々からできていて、たいへん美しく見応えがありました。かまぼこづくりも体験できました。あらかじめ用意された食材を使って、トッピングし、形を整え最後に焼きました。手作りはやはり美味しかったです。みんなあつという間に平らげてしまいました。

プログラムで予定されていた見学コースはもちろんのこと、自由行動の時間も含め、このツアーで初対面であった学生も楽しく打ち解け、みんなでさまざまな話題で盛り上げ、行く先々で新たな発見をし、大いに楽しみました。牛タンなど地元の特産品から、家族、友人、そして自分へのお土産を選び、中でも自動販売機で売られている方言Tシャツが一部の参加者の中でヒット商品になりました。

来年もぜひ参加したい、いまから行き先のリクエストをしよう、という声も聞かれ、実に楽しい旅でした。改めてご支援をいただいた父母会に厚く御礼申し上げます。どうもありがとうございました！

< 参加学生の声 >

- ◆世界遺産である中尊寺に行けたことに感動しました。
- ◆笹かま体験がすごく楽しかったです。ツアーで食べたすべての料理が最高でした！
- ◆友達や忘れられない思い出がたくさんできました。さらに、日本の文化がもっと理解できて、これからも日本の生活を楽しみながら、勉強して、働きたいなと思います。
- ◆私自身の普段どおりの学生生活の日々の中では、直接に留学生の学生たちと関わるのが数少ないので、つながりを築くことができてたいへん充実した2日間を過ごせたことが印象に残りました。



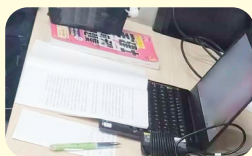
キャリアセンターより【就職活動を終えた学生の声】

就職活動を終えた4年次生2名にインタビューを行いました。保護者の皆様への感謝の言葉とともに貴重な学びを共有いただきました。キャリアアドバイザーのコメントとともにお伝えいたします。



【決定進路】

野村不動産
ソリューションズ株式会社
(不動産仲介業) 事務職



佐山 奈津実さん
(法学部)

Q1. 内定先企業に決めた理由を教えてください。

会社説明会や面接を通して、社員の方々の雰囲気や人柄が自分に合っていると感じ、この環境なら自分らしく働けると思ったからです。また、自分がそこで働いている姿を自然にイメージでき、就職活動の軸として大切にしていた「人を大切にする職場」という点にもぴったりだったため、この企業に決めました。

【キャリアアドバイザーより】企業選びの際に「社員の雰囲気や人柄が自分に合っているか」というマッチングを重視し、「人を大切にする職場」という就職活動の軸を明確に持てたことが、迷いのない意思決定につながっています。学生には安易に会社名や給料で選ぶのではなく、自分自身の価値観や働く上で大切にしたいことがマッチする企業を選ぶようにアドバイスしています。

Q2. 就職活動は何を目指し、どのように進めましたか。

自分が納得できる就職活動を目指し、大学3年の春から業界を絞らずにさまざまな企業のインターンや説明会に参加しました。冬ごろからは自己分析や企業研究、SPIの勉強も始め、早めに行動していたおかげで焦らず自分のペースで就職活動を進めることができました。

【キャリアアドバイザーより】3年次春という早い時期から業界を絞らずに多様な企業に触れ、自分のペースで着実に準備を進められたことが成功の要因です。就職活動の早期化・長期化が進んでいく中で、早期からマイペースでコツコツ行動することで焦りを防ぎ、じっくりと自己分析や企業研究に時間をかける余裕を生みます。

Q3. 就職活動中に大切だと思ったことは何ですか。

就職活動で大切だと思ったのは「振り返り」をすることです。選

考を受けっぱなしにせず、毎回の面接や試験を通して自分の課題を見つけ、次はどう生かすかを考えるようにしました。むやみに数をこなすよりも、改善を重ねることで自分の変化を実感できるようになり、自信にもつながりました。

【キャリアアドバイザーより】この「振り返り」の姿勢こそ、就職活動において最も重要です。選考の結果だけでなく、過程を分析し、改善を重ねることで、学生は短期間で大きな成長を遂げます。上手くいかなかった時こそ、結果ではなく「どういうプロセスを経て次につなげるか」ということが大切です。キャリアセンターの個別相談で振り返りを共にサポートします。

Q4. 就職活動中にご自身の成長を感じたことは何ですか。

就職活動を通して、自分の考えを自然に伝えられるようになったと感じています。最初は人と話すことに苦手意識がありましたが、面接を重ねていくうちに相手に合わせて自分を取り繕うことなく、自分の言葉で素直に話せるようになりました。どんな質問にも相手の意図を考えて答えられるようになり、自分を表現することが自然にできるようになったと思っています。

【キャリアアドバイザーより】面接は場慣れや経験が大切です。自分を飾らずに「ありのままの自分」を自分の言葉で表現できるようになったのは、素晴らしいことです。企業は、マニュアル通りの回答ではなく、学生の素直な個性や考え方の深さを知りたいと考えています。この「素直に話せる力」は、社会に出てからも、信頼関係を築く上でも役に立つスキルです。

Q5. 後輩や保護者にメッセージをどうぞ。

就職活動は大変なこともあります。自分を見つめ直す貴重な機会でもあります。周りのペースに焦らず、自分が納得できる形で進めてほしいです。私は、自分のやりたいように挑戦させてくれた保護者の支えにとっても感謝しています。焦らず、自分らしい就職活動を大切にしてほしいです。

【キャリアアドバイザーより】「自分のやりたいように挑戦させてくれた」という保護者への感謝の言葉から、お子様の自主性を尊重したサポートが学生にとって最大の支えになっているようです。就職活動は自己成長の機会であり、お子様の選択を信頼し、プレッシャーを与えずに見守っていただけますと幸いです。



【決定進路】

株式会社スタジオぴえろ
(アニメーション制作業)
制作進行職



高石 佳月さん
(メディア情報学部)

Q1. 内定先企業に決めた理由を教えてください。

影響力があり昔から多くの人をアニメで支えている素敵な会社だと感じたからです。さらに面接では優しく楽しく、こちらの考えや想いを深くまで知ろうとしてくれる姿勢が印象的で、自分にとっても相性が良いと感じ志望を決めました。

【キャリアアドバイザーより】面接での企業側の対応を重視し、相性を確認されたことは素晴らしいです。保護者の皆様には、お子様の「直感」や「相性」も大切な判断基準として尊重していただきますようお願いいたします。

Q2. 就職活動は何を目指し、どのように進めましたか。

アニメーション業界で貢献することを目標に就職活動を進めました。業界について詳しく調べ、自分の強みがどの場で活かせるかを考えながら、大学3年の3月頃から積極的にエントリーを重ねました。初めの頃の面接はうまくいきませんでした。回数を重ねることで受け答えや志望理由の弱点に気づき、少しずつ改善していききました。

【キャリアアドバイザーより】明確な目標に対し、試行錯誤と改善を重ねられた努力が実を結びました。就職活動では上手いかないうち時期もあるかと思われます。失敗を成長の機会と捉え、地道な努力を重ねていくことが成功への近道となります。

Q3. 就職活動中に大切だと思ったことは何ですか。

礼儀と思いやりが大切だと感じました。面接では良く見せようとしても、普段の考え方や言葉遣いが出てしまいます。そのため日

常生活から丁寧な対応を心がけることが大切だと思いました。また、礼儀を厳しく指導してくれる存在のありがたさも実感しています。体操演技同好会サークルの顧問の先生のおかげでその習慣が自然に身につき、心から感謝しています。

【キャリアアドバイザーより】就職活動の場で問われるのは、日々の姿勢です。ご本人も気づかれたように、礼儀や思いやりは社会人の土台となります。日頃近くにいらっしゃるご家族が日常生活での挨拶や言葉遣いを一緒に見守っていただけますと幸いです。

Q4. 就職活動中にご自身の成長を感じたことは何ですか。

印象を残す力と対応力が身についたと感じています。初めの頃は「アニメを作りたい」という想いだけで臨んでいましたが、同じ夢を追う人が多い中で自分らしさをどう伝えるかを意識するようになりました。これまで頑張ってきた体操の経験を重ね合わせて話すことで、自分の強みを活かしたアニメ制作への想いを伝えられるようになったと感じています。

【キャリアアドバイザーより】夢や憧れだけの自己PR・志望動機では採用担当者の評価は得られません。ご自身の経験と夢を結びつけることで、「自分らしさ」が際立ったことが企業から高い評価を得られた要因です。学業はもちろんのことですが、課外活動に力を注ぐことも大切です。

Q5. 後輩や保護者にメッセージをどうぞ。

自分はたくさんの素敵なご縁に恵まれて、ラッキーだったなと思っています。夢に向かって挑戦する中で周りに支えられて少しずつ成長できました。これからがんばる方も、自分らしさを大事にしながら、出会った「ご縁」を大切に楽しんで挑戦してほしいです。

【キャリアアドバイザーより】学生のコメントからも周りの「ご縁」と「支え」への感謝が伝わってきます。そのようなお人柄が選考の中で企業にも伝わっていたのではないのでしょうか。お子様が自信を持って自分らしく挑戦できるよう、保護者の皆様には焦らず見守り、寄り添う姿勢を大切にさせていただきますよう、お願いいたします。

おわりに・・・

本学では、学生が主体的に就職活動を進められるよう、キャリア支援に力を入れております。インタビューを通じて、我々も保護者の皆様のサポートが学生にとって大きな力となることを改めて感じました。ぜひ、引き続きお子様の将来を見守り、応援していただければ幸いです。

地域連携活動報告

“地域”を活かして実践的な教育を行っています！

駿河台大学は、地域に根ざした大学として、地域と大学がともに発展する共生を目指し、さまざまな取り組みを行っています。地域との協働によって地域社会の活性化に努めるとともに、「地域の教育力」を学生の実践的な学びに活かしています。地域社会を学びの場とする「アウトキャンパス・スタディ」を全学部のカリキュラムに導入しており、「地域インターンシップ」「まちづくり実践」「課題解決プロジェクト」「森林文化A・B」といった授業科目が用意されています(このうち「まちづくり実践」「課題解決プロジェクト」は「まちプロ」と称し、まちおこしや映像制作、環境活動など複数のプロジェクトがあります)。以下に、「地域インターンシップ」「まちづくり実践」「課題解決プロジェクト」「森林文化A・B」の活動内容をご紹介します。

● 地域インターンシップ

地域インターンシップは、学生たちが現場での就業体験をとおり、実際の職場を理解し基礎的な知識を身につけ、自らをキャリアアップさせる、将来活躍するための就業力を養う本学の特色ある教育の一つです。この授業は、駿河台大学同窓会よりご支援をいただいている寄附講座で、「地域インターンシップ」という授業名のとおり、地域企業・団体のご協力のもと実施運営されています。



春学期の事前授業から始まり、準備をして夏休みに実習に臨み、終了後には報告会で、自らの体験をふりかえります。地域と大学が協力して学生の将来の進路を真剣に考える機会を提供しています。

● まちづくり実践(まちおこしイベント(飯能))

飯能市上名栗で行われている獅子舞の保存活動に参加し、伝統文化の継承やまちづくりを学び、体験するプロジェクトです。

このプロジェクトに参加する学生たちは、半年間にわたって獅子・さら・笛・太鼓の猛練習を積み重ねます。今年も9月の例大祭で、学生が美しい舞を披露してくれました。



● 課題解決プロジェクト(岩手の魅力をPR)

このプロジェクトは、高齢化や人口減少、震災復興など多くの緊急課題を抱える岩手県中山間部や沿岸地域において、暮らすことと働くことを実際に体験し、広い視野から物事を見通す力、行動力、コミュニケーション能力や協調性、社会観や職業観を高めることを目的としています。



● 森林文化A・B

授業科目「森林文化A・B」では、里山の環境保全、自然環境保護について、間伐や遊歩道の整備などを専門家とともに体験的に学ぶことによって、SDGsの達成に向けた具体的なアクションへとつなげていきます。マウンテンバイクを愛好する方々をはじめ、学内外の組織や人々との協働を通じて、コミュニケーション能力や協調性・行動力を培う授業です。



学生たちの活動の記録は

本学ホームページでも随時ご紹介しています。

<https://www.surugadai.ac.jp/regional-collabo/>



お知らせ

健康相談室より

健康相談室とは、中学・高校での保健室のようなところで、充実した学生生活を送れるように学生生活をサポートしています。看護師やカウンセラーが、学生の身体や心の相談に応じています。

健康相談室の開室時間・連絡先などは以下のとおりです。

● 開室時間：月曜日～土曜日 9:00～17:00

（休日・大学休業日を除く）

● 場 所：第二講義棟1階

● 連 絡 先：042-972-1783（直通）

1. 学生相談（秘密厳守）

カウンセラーが、学生生活に関するさまざまな相談事について、話を伺います。

○相談内容について（主な相談内容）

大学生活について

- ・単位が心配
- ・課外活動のことで悩んでいる
- ・将来の目標や進路について悩んでいる

対人関係について

- ・学内に友達がいない
- ・友達や教員との関係が上手くいかない

心身の健康について

- ・気分が落ち込む、自信がない、イライラする
- ・電車やバスに乗ると腹痛や気分が悪くなる
- ・性格のことで悩んでいる
- ・性のことで悩んでいるなど

○学生相談時間

月曜日～金曜日 11:00～17:00

○相談申込方法

健康相談室へお越しください。電話での相談にも応じています。ご父母からの相談も受け付けています。

2. 健康相談

校内でのけがや病気の応急処置の対応、大学近隣の病院紹介などを行っています。

○健康相談室における薬の取り扱い

健康相談室に常備している薬は、市販されている薬のみです。また、薬による副作用を未然に防ぐため、今までに服用したことのない薬は渡していません。薬が必要な場合は、薬を使用する本人が健康相談室に来室して相談するよう案内しています。看護師が症状を確認してから投薬の適否を判断しますが、場合

によっては、薬を渡せない場合もあります。常用している薬がある人は、常備するように心掛けてください。

○健康相談

校医による無料の健康相談を行っています。ご希望の方は健康相談室までお問い合わせください。看護師による相談は随時行っています。

○診断書・手帳の提出

持病がある学生は、医師が作成した診断書の提出をお願いします。また、「障害者手帳」「サポート手帳」などを取得している学生は、学生証と手帳を持参の上、健康相談室までお越しください。

○定期健康診断の実施

学校保健安全法に基づき、年度当初のガイダンス時に定期健康診断を実施しています。健康診断の結果を基に「健康診断証明書」を発行します。健康診断の結果、精密検査が必要となった場合は、検査を受けた後に「健康診断証明書」を発行します。「健康診断証明書」は毎年5月半ばより、第二講義棟1階の証明書自動発行機より購入する事ができます。また、ポータルサイト「ポタロウ」より、健康診断の結果を照会できます。

○医療機関を受診するとき

病気やけがで医療機関を利用する際は「マイナンバーカード」または、マイナンバーカードの健康保険証利用登録をしていない方等に交付される「資格確認書」が必要となります。日ごろから携帯するようにしてください。

3. 障害支援相談

障害のある学生からの大学生活に関する相談に応じています。障害のある学生が、円滑に学生生活を送れるよう、不安なことなどがあればご相談ください。

4. 健康相談室からのお願い

インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等に罹ってしまった場合、また、授業を休むようなけがや病気が生じた際は、健康相談室までご連絡ください。

2026年度当初の行事について

1. 学年暦

2026年度は、右の日程が授業日となっています。P39の『2026年度学
年暦』を確認し、授業日を間違えないようにしてください。

授業を行う祝祭日	
4月29日(水)	昭和の日
7月20日(月)	海の日
10月12日(月)	スポーツの日
11月23日(月)	勤労感謝の日

2. 年度当初の行事予定及び授業開始日

2026年度の年度当初の主な行事予定は、本学ホームページから、『2026年度 年度当初の行事予定表』を参照してください(1月中旬掲出予定)。在学生は、3月下旬より年次ガイダンスが始まりますので注意してください。

ガイダンスの詳細については、決まり次第、掲示や各年次ガイダンス等でお知らせします。通常授業は、4月13日(月)より始まります。

3. 証明書の発行

2026年度の成績証明書、卒業見込証明書及び健康診断証明書の発行開始日は次のとおりです。次の日時から証明書自動発行機(1通200円)にて発行します。

証 明 書	日 時
成績証明書	3月28日(土)9:00～
卒業見込証明書 健康診断証明書 (1～4年次生)	5月11日(月)9:00～

4. 証明書自動発行機の取扱い中止について

証明書発行機調整のため、次の期間は、取扱い中止となり、証明書の発行ができませんので注意してください。

2026年3月19日(木)～3月27日(金)終日

5. 各年次ガイダンス

- (1)持参物 ①学生証 ②履修ガイド ③筆記用具
(2)配付物 ①講義時間割表【履修の手引き】 ②その他
※ガイダンスに出席しない場合、不利益を被ることがあります。
必ず出席してください。

6. 外国人留学生ガイダンス

2026年度の授業料減免についての説明もしますので、該当する日時・場所をよく確認して、年次ガイダンスとあわせて必ず出席してください。

7. 学生証について

学生証裏面シールに入学年度が記載されている場合は、更新は不要です。更新が必要な方は、学生支援課までお越しください。

8. 定期健康診断の実施

必ず全員受診してください。健康診断を受診しない場合は、本学における健康診断証明書の発行はできません。受診時は、必ず学生証を持参してください。

- ①眼鏡・コンタクトレンズ使用者は、健康診断当日に携帯または装着してきてください。
②胸部レントゲンは、無地のTシャツで撮影しますので、全員準備してきてください。

同窓会より

同窓会ホームページはこちら <https://www.surugadai.ac.jp/dousou/>



卒業後の住所変更について

卒業生には今後も「駿河台大学 同窓会報」等を送付する予定です。同窓会報は4月と10月に、在学時に登録されていたご住所に送付します。通学のために一人暮らしをしていた方や、勤務地などの関係でご住所が変更となる方は、同窓会事務局(学生支援課内)までお知らせください。また今後、届出の内容に変更が生じた場合も、その都度、同窓会事務局までご連絡ください。ご住所等の変更は、同窓会ホームページ(右上のQRコード)からも受け付けております。

住所変更されないと、同窓会報や各種郵便物等の送付ができませんので、保護者の皆様からお伝えいただきたくお願い申し上げます。

同窓会の主な活動

○同窓会報の発行／ホームページ更新

会報は年2回発行し、ホームページからは活動状況や会報の閲覧、各種手続きが行えるとともに、最新情報が入手できます。

○同窓会総会・懇親会の開催

毎年6月下旬に開催しています(参加費無料)。

○ホームカミングデーの実施

毎年10月下旬に開催される駿輝祭にあわせて大学にて実施し、同窓会・父母会共催の講演会、懇親会も行います(参加費無料)。

※同窓会行事には多くの教職員も参加しますので、皆様お誘い合わせの上、お気軽にご参加ください。

● お問い合わせ先 同窓会事務局(学生支援課内)
TEL: 042-972-1101(直通)

窓口受付時間: 月曜日～土曜日 9:00～17:00
(休日・大学休業日を除く)

2026年度学年暦

■ 定期試験期間 ■ 祝日授業日 ■ 大学休業日

4月

日	月	火	水	木	金	土
						3/28
3/29	3/30	3/31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

3月28日～4月11日：ガイダンス期間
3日：入学式
7～10日：チームビルディング(ス)
7・8日：新入生セミナー(法・経・メ・心)
13日：春学期授業開始
29日：授業日(昭和の日)

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
					6	
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

6日：父母会総会

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

20日：授業日(海の日)
29日：春学期授業終了
7月30日～8月5日：春学期末定期試験

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

6日：定期試験予備日
8月6日～9月10日：夏期休業期間
10・11日：追試験
12・19・20日：振替休日(4月29日・7月20日・8月11日分)
13～18・29日：大学休業日

9月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

4・7～10日：秋ガイダンス期間
5日：大学休業日
9日：秋入学入学式
11日：秋学期授業開始
30日：9月卒業学位記授与式

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

12日：授業日(スポーツの日)
23～26日：駿輝祭(授業休講)

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

22日：創立記念日
23日：授業日(勤労感謝の日)
26日：学部Day(特別授業日)

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

22日：秋学期年内授業終了日
12月23日～1月3日：冬期休業期間
29・30日：振替休日(10月12日・11月23日分)
26・28・31日：大学休業日

2027年 1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2日：大学休業日
4日：秋学期年明授業開始
12日：授業休講日
15日：大学入学共通テスト準備日(授業休講)
16・17日：大学入学共通テスト(授業休講)
19日：秋学期授業終了
20～26日：秋学期末定期試験
27日：定期試験予備日

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

1・2日：追試験
26・27日：再試験

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

18日：学位記授与式(卒業式)

○は式典・催し等、特記事項がある日となります。
該当する月の下の欄を参照ください。

住所変更について

住所変更は「ポタロウ」で!

転居により保証人住所を変更された場合は、学生よりポータルサイト「ポタロウ」で変更手続きを行ってください。

保護者向け「ポタロウ」について

保護者の皆様も学生向けポータルサイト「ポタロウ」を利用することができます。学生の出席状況や成績評価をはじめ、大学からのお知らせやご案内もご確認いただけます。

2025年度秋学期の成績は、3月28日(土)9:00に公開予定です。

保護者向けポータルサイトのご案内はこちら→



駿河台大学父母会会報

菩提樹

SURUGADAI UNIVERSITY
PARENTS' ASSOCIATION
BODAIJU



発行:

駿河台大学 父母会事務局

〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698
TEL:042-972-1101

印刷:株式会社スリーライト 東京都中央区日本橋久松町5-6

菩提樹(非売品)第75号
2026年2月 発行